区連会 資料１－１

旭警察署生活安全ニュース

令和8年10月号

旭警察署生活安全課
045-361-0110(内線261)

刑法犯の発生状況　令和8年9月末

	令和8年	令和7年	増 減
特殊詐欺	48	46	+2
空き巣	9	11	−2
自動車盗	11	18	−7
オートバイ盗	54	35	+19
自転車盗	99	123	−24
不同意わいせつ	5	6	−1
強盗	4	1	+3
ひったくり	1	0	+1
器物損壊、忍込み等	658	556	+102
総件数	889	796	+93

特殊詐欺の発生状況　令和8年9月末

※令和8年4月1日より
投資・ロマンス詐欺が特殊詐欺に追加

神奈川県内

	令和8年	令和7年	増減
件数	2,321	2,280	+41

令和8年　被害金額	約194億円

旭区内

	令和8年	令和7年	増減
件数	48	46	+2

令和8年　被害金額	約14億4,890万円

非行少年の状況　令和8年9月末

犯罪少年検挙人数

	令和8年	令和7年	増減
件数	55	61	−6

不良行為少年補導人数

	令和8年	令和7年	増減
件数	1,022	1,565	−543

旭警察署からのお知らせ

警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ

(´つ･ω･)つ◆詐欺の電話はアプリでブロック！！◆

- ○ 固定電話は迷惑電話防止機能付き録音機を設置して特殊詐欺を防ぎましょう。
- ○ 旭警察署ホームページでも情報発信を行っています。
- ○ オートバイ盗急増中！！必ず鍵は抜きましょう！！

みんなでつくろう！　安全・安心の街　旭！

９　月　中　前　兆　電　話　入　電　地　区　一　覧

場所	川島町	四季美台	鶴ケ峰１丁目	鶴ケ峰２丁目	鶴ケ峰本町１丁目	鶴ケ峰本町２丁目	鶴ケ峰本町３丁目	西川島町	中希望が丘
当月				1件					
累計	4件	2件	2件	3件	1件	4件	2件	4件	6件

場所	東希望が丘	善部町	南希望が丘	さちが丘	二俣川１丁目	二俣川２丁目	本宿町	本村町	中尾１丁目
当月				1件			1件		1件
累計	3件	0件	8件	7件	4件	4件	5件	1件	3件

場所	中尾２丁目	中沢１丁目	中沢２丁目	中沢３丁目	市沢町	小高町	三反田町	白根町	白根１丁目
当月									
累計	0件	5件	2件	3件	7件	0件	0件	0件	2件

場所	白根２丁目	白根３丁目	白根４丁目	白根５丁目	白根６丁目	白根７丁目	白根８丁目	中白根１丁目	中白根２丁目
当月					1件	1件			2件
累計	2件	2件	2件	1件	3件	1件	2件	0件	7件

場所	中白根３丁目	中白根４丁目	上川井町	川井宿町	川井本町	桐が作	左近山	上白根町	上白根１丁目
当月			1件					3件	1件
累計	0件	1件	6件	0件	1件	0件	9件	18件	2件

場所	上白根２丁目	上白根３丁目	今川町	今宿西町	今宿東町	今宿南町	今宿町	今宿１丁目	今宿２丁目
当月	1件		1件	1件					
累計	2件	2件	2件	2件	5件	6件	4件	1件	3件

場所	大池町	柏町	万騎が原	南本宿町	若葉台１丁目	若葉台２丁目	若葉台３丁目	若葉台４丁目	金が谷
当月					1件				
累計	0件	5件	3件	5件	6件	4件	1件	5件	3件

場所	金が谷１丁目	金が谷２丁目	笹野台１丁目	笹野台２丁目	笹野台３丁目	笹野台４丁目	矢指町	下川井町	都岡町
当月					1件				
累計	3件	3件	2件	1件	4件	1件	0件	0件	1件

特殊詐欺発生件数（9月）

発生件1件

発生日	発生場所	手口詳細	被害品	騙された理由	発生日	発生場所	手口詳細	被害品	騙された理由
7月13日	若葉台4丁目	区役所騙り	キャッシュカード	自分が騙されると思っていなかった					

場所	川島町	四季美台	鶴ケ峰1丁目	鶴ケ峰2丁目	鶴ケ峰本町1丁目	鶴ケ峰本町2丁目	鶴ケ峰本町3丁目	西川島町	中希望が丘
当月									
累計	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	1件

場所	東希望が丘	善部町	南希望が丘	さちが丘	二俣川1丁目	二俣川2丁目	本宿町	本村町	中尾1丁目
当月									
累計	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件

場所	中尾2丁目	中沢1丁目	中沢2丁目	中沢3丁目	市沢町	小高町	三反田町	白根町	白根1丁目
当月									
累計	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

場所	白根2丁目	白根3丁目	白根4丁目	白根5丁目	白根6丁目	白根7丁目	白根8丁目	中白根1丁目	中白根2丁目
当月									
累計	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	0件	0件

場所	中白根3丁目	中白根4丁目	上川井町	川井宿町	川井本町	桐が作	左近山	上白根町	上白根1丁目
当月									
累計	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	1件	0件

場所	上白根2丁目	上白根3丁目	今川町	今宿西町	今宿東町	今宿南町	今宿町	今宿1丁目	今宿2丁目
当月									
累計	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

場所	大池町	柏町	万騎が原	南本宿町	若葉台1丁目	若葉台2丁目	若葉台3丁目	若葉台4丁目	金が谷
当月								1件	
累計	0件	0件	0件	0件	1件	1件	0件	2件	0件

場所	金が谷1丁目	金が谷2丁目	笹野台1丁目	笹野台2丁目	笹野台3丁目	笹野台4丁目	矢指町	下川井町	都岡町
当月									
累計	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

神奈川県警察公式アプリ
かながわポリス





アプリをダウンロードして、防犯情報等を入手！

その他にも「痴漢撃退機能」「防犯ブザー機能」など、多数の機能を搭載！

配信情報① ピーガルくん安全メール



不審者情報など地域住民の方の安全に係る情報を配信している「ピーガルくん安全メール」の内容が見れるのだ！
不審者情報等の場所もマップで確認できるのだ！

配信情報② 犯罪情報



ひったくり、自動車盗などの発生情報をマップで確認できるよ！
過去の発生情報についても、期間を指定して確認できるよ！

配信情報③ 特殊詐欺



特殊詐欺がどこで発生しているのかマップに表示されます。
増加している特殊詐欺の最新の手口を「お知らせ」欄に掲載しています

App Store からダウンロード

Google Play 手に入れよう

アプリを今すぐダウンロード

かながわポリス



神奈川県警察 × 秘密結社鷹の爪公式「ガル鷹」

旭警察署交通ニュース令和8年10月号

◎9月末の事故状況前年対比

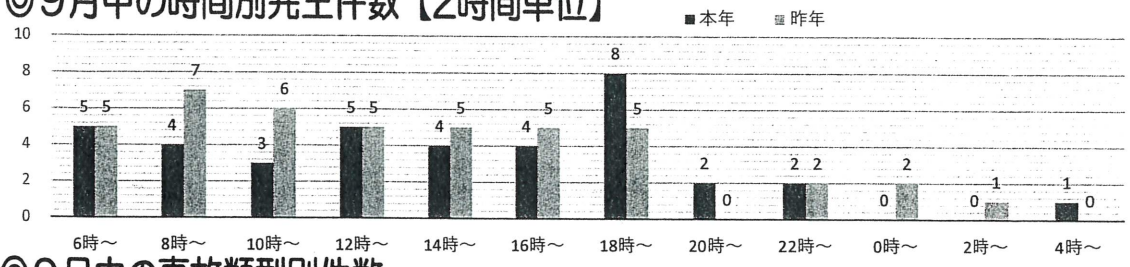
	発生	死者	重傷者	軽傷者	負傷者
2026年	379	1	16	404	420
2025年	381	1	20	412	432
前年比	-2	±0	-4	-8	-12

2026年月別事故発生件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	48	52	43	50	40	34	36	38	38

順位	都道府県別交通死亡事故数ワースト順位(9月末)
1位	神奈川(101)
2位	東京(93)
3位	愛知(91)

※データはすべて速報値です

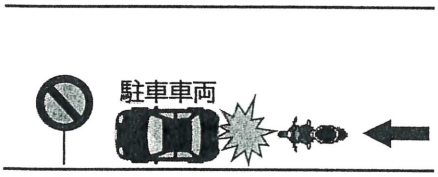
◎9月中の時間別発生件数【2時間単位】



◎9月中の事故類型別件数

事故類型		2025 発生件数	2025 死者数	2025 負傷者数	2026 発生件数	2026 死者数	2026 負傷者数
人対車両	横断歩道横断中	4	0	5	2	0	2
	その他	6	0	6	6	0	6
車両相互	すれ違い時	3	0	3	0	0	0
	出会い頭	3	0	3	6	0	6
	右折時 その他	3	0	3	0	0	0
	右折時 右折直進	5	0	5	5	0	5
	左折時	0	0	0	4	0	4
	正面衝突	1	0	1	3	0	3
	車両相互その他	3	0	3	3	0	3
	追突	13	0	15	8	0	10
	追越追抜き時	1	0	1	0	0	0
車両単独	車両単独	1	0	1	1	0	0
列車	列車	0	0	0	0	0	1
合計		43	0	46	38	0	40

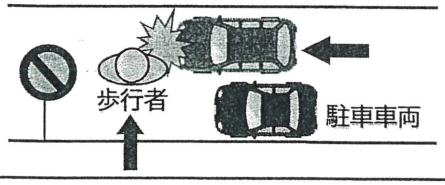
違法駐車の危険性について



1. 車両が駐車車両と衝突

違法駐車は、道路の安全や円滑な通行の妨げになり大変危険です。

特に交通死亡事故では、二輪車が駐車車両に追突する形態の割合が高くなっています。



2. 駐車車両の陰から出てきた人と車両が衝突

駐車車両は、運転者の死角を増やし、駐車車両の陰から出てきた歩行者や自転車などの発見を遅らせるので大変危険です。

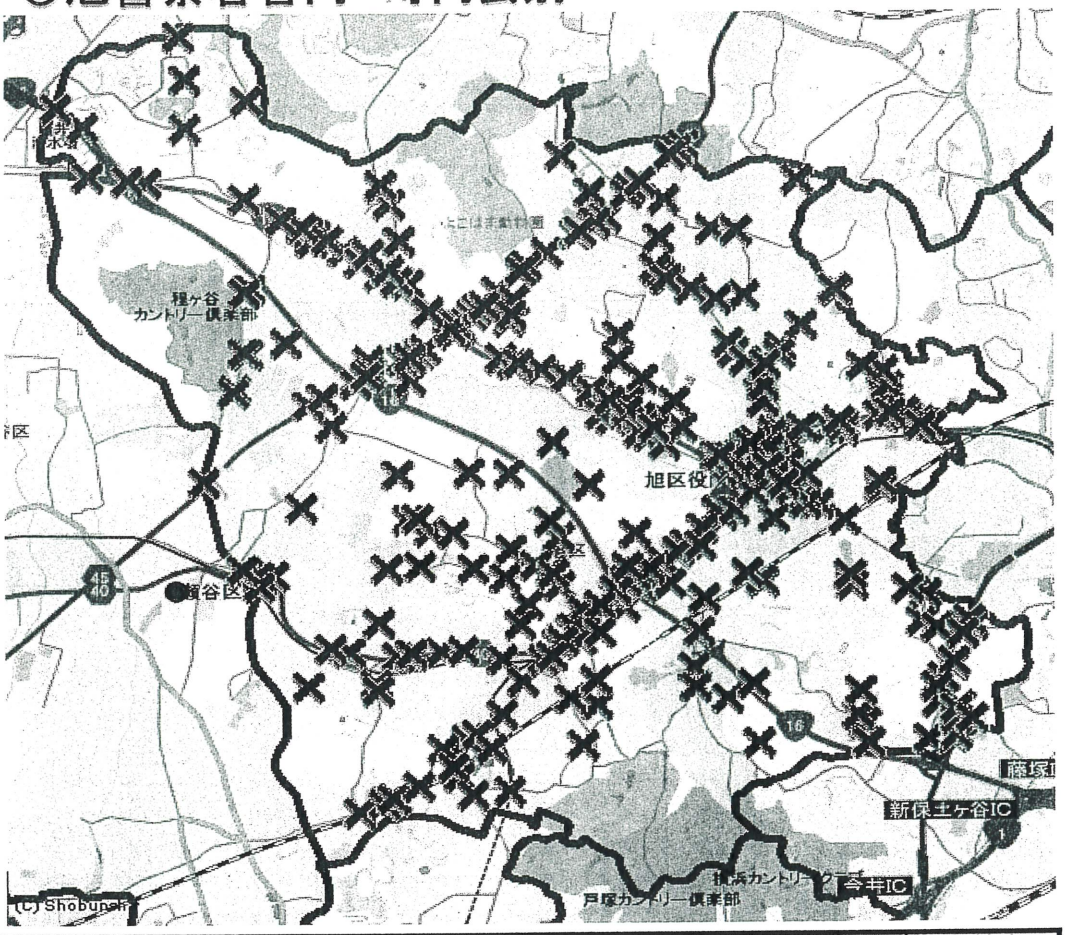


違法駐車追放強化期間

令和8年10月22日(木)から同月31日(土)まで

◎旭警察署管内　町内会別

令和8年9月末現在



町内会	件数	前年比	二輪車	自転車	子供	高齢者
(大池)	0	−1	0	0	0	0
鶴ヶ峰	66	+5	25	12	2	27
白根	32	+18	13	9	1	13
旭北	24	+10	5	7	2	5
上白根	11	−7	3	1	0	3
今宿	25	−10	11	5	3	8
川井	70	−4	29	8	5	17
若葉台	4	−1	4	0	0	1
笹野台	5	0	2	0	1	1
希望が丘	3	+2	1	0	0	0
希望が丘東	19	+7	6	3	1	7
希望が丘南	9	−10	6	0	0	3
さちが丘	11	+2	3	1	2	1
万騎が原	8	+3	3	3	1	3
二俣川	46	+4	19	4	2	18
二俣川ニュータウン	1	−2	0	0	0	0
旭中央	7	+1	2	1	0	4
旭南部	12	−12	4	0	3	2
左近山	4	+2	2	0	0	1
市沢	22	−9	15	0	1	6
総　計	379	−2	153	54	24	120

(注)　＊表の数字は1件の交通事故でも、状態(二輪車、自転車、子供、高齢者)に該当する項目があればカウントされます。
例:二輪車に乗った高齢者と、自転車に乗った子供が衝突した場合は、すべてにカウントされます。

旭消防署からのお知らせ

区連会 資料１－２

旭区内火災発生状況 （ ９月中 ： ３件 ）

月日	場所	用途	被害状況	出火原因
９ 月 ９ 日	鶴ケ峰二丁目	店舗	商品棚を若干焼損	放火
９ 月 17 日	南本宿町	遊具	公園内の鉄製平均台を若干焼損	調査中
９ 月 28 日	若葉台一丁目	共同住宅	スマートフォン１台焼損	調査中

各年１月１日から９月30日まで

	項　　目	旭　区　内			横　浜　市　内		
	区 分 ／ 年 数	令和8年	令和7年	増△減	令和8年	令和7年	増△減
火災状況	火 災 件 数（件）	20	34	△ 14	519	592	△ 73
	焼 損 床 面 積（㎡）	0	272	△ 272	5,084	4,376	708
	死　　者　（人）	0	0	0	17	17	0
	負　傷　者（人）	2	4	△ 2	80	90	△ 10
救急状況	救 急 件 数（件）	11,673	11,745	△ 72	180,803	183,010	△ 2,207
	１日当たりの出場件数（件）	43	43	0	662	670	△ 8

（備考）令和8年の数値は速報値であり、確定値ではありません。



【お問合せ先】旭消防署総務・予防課　電話・FAX：951－0119

令和8年町丁別火災発生状況

令和8年1月1日から令和8年9月30日まで

署所別	町丁別	小計	火災種別 建物	車両	林野	その他
本署 6件	川島町	(1)		(1)		
	白根町					
	白根一丁目					
	白根二丁目					
	白根三丁目					
	白根四丁目					
	白根五丁目					
	白根六丁目					
	白根七丁目					
	白根八丁目					
	中白根一丁目	1	1			
	中白根二丁目					
	中白根三丁目					
	中白根四丁目					
	鶴ヶ峰一丁目					
	鶴ヶ峰二丁目	2	2			
	鶴ヶ峰本町一丁目					
	鶴ヶ峰本町二丁目					
	鶴ヶ峰本町三丁目					
	西川島町	1				1
	本村町					
	四季美台					
	今川町					
	今宿東町	1				1
	今宿西町					
	今宿南町					
さちが丘 3件	さちが丘					
	東希望が丘	1	1			
	中希望が丘	2	2			
	南希望が丘					
	二俣川1丁目					
	善部町					
都岡 0件	川井本町					
	川井宿町					
	下川井町					
	都岡町					
	上白根町					
	上白根一丁目					
	上白根二丁目					
	上白根三丁目					

署所別	町丁別	小計	火災種別 建物	車両	林野	その他
南本宿 3件	本宿町					
	南本宿町	1(1)		(1)		1
	二俣川2丁目					
	桐が作					
	左近山	1		1		
	万騎が原					
	大池町					
	柏町					
若葉台 3件	上川井町	2	1			1
	若葉台一丁目	1	1			
	若葉台二丁目					
	若葉台三丁目					
	若葉台四丁目					
市沢 2件	市沢町	1(1)	1	(1)		
	三反田町					
	小高町					
今宿 3件	金が谷					
	金が谷一丁目	1	1			
	金が谷二丁目					
	今宿町					
	今宿一丁目	(1)				(1)
	今宿二丁目					
	笹野台一丁目					
	笹野台二丁目					
	笹野台三丁目					
	笹野台四丁目					
	中沢一丁目					
	中沢二丁目					
	中沢三丁目					
	中尾一丁目					
	中尾二丁目					
	矢指町	(1)		(1)		

合計	20 件	建物	車両	林野	その他
		10	5	0	5

＊ 地区連合未加入・高速道路等を含みます。
＊ ()の数値は町丁別の火災件数には計上されません。

旭区連合自治会町内会火災発生状況

自治会・町内会	月	累計
鶴ヶ峰地区町内会連合会	1	3(1)
白根地区町内会自治会連合会		
旭北地区連合自治会		
上白根連合自治会		
今宿地区町内会自治会連合会		1
川井地区町内会自治会連合会		2
若葉台連合自治会	1	1
笹野台地区連合自治会		1
希望が丘連合自治会		2
希望が丘東地区連合自治会		1

自治会・町内会	月	累計
希望が丘南地区連合自治会		
さちが丘地区連合自治会		
万騎が原連合自治会		
二俣川地区連合自治会		
二俣川ニュータウン連合町内会		
旭中央地区連合町内会		
旭南部地区連合自治会	1	1
左近山連合自治会		1
市沢地区連合町内会		1(1)
地区連合未加入・高速道路等		4
合計	3	20

【お問合せ先】 旭消防署総務・予防課　電話・FAX：951－0119

区連会 資料１－３

令和８年 10 月吉日

旭区自治会・町内会長　各位

横浜市旭消防署長

消防航空隊の離発着訓練の実施について

１　趣旨

消防局所属の消防航空隊（ヘリコプター）が、区内の場外離発着場において、消防署・消防団と連携した着陸・離陸の訓練を実施します。訓練は一般公開としますので、ヘリコプター着陸後、概ね 30 分程度、機体の近くでの見学や写真撮影時間を設ける予定です。また、訓練中は、ヘリコプターの離発着時に回転翼が発生させる吹きおろしによる局所的な強風（ダウンウオッシュ）や轟音が発生します。
つきましては、各自治会、町内会にて周知をお願いします。

２　お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。
【地区連長】ご承知おきください。
【単位会長】定例会等で情報提供・周知をお願いします。

３　日時

令和８年 11 月４日（水）　午後２時 00 分から午後４時 00 分まで
※　天候不良や航空消防隊に緊急の機体整備が必要となった場合は、訓練中止となります。

４　訓練実施場所

旭区今川町 96 番地２
今川公園草地広場

５　訓練概要

重症傷病者の救出・搬送に対応するため、消防航空隊は場外離発着場である今川公園草地広場において救出訓練及び離着陸を実施します。これに伴い、地上支援部隊である消防隊が連携し、救出活動及び離着陸場所の安全確保ならびに傷病者の消防航空隊機内への収容に関する訓練を行います。

６　近隣住民への対応

消防航空隊の離発着に伴い、ヘリコプターの吹きおろしによる局所的な強風（ダウンウオッシュ）や轟音が発生することから、関連自治会や近隣事業者等に対し、十分な事前広報を行い、訓練実施への理解を求めます。

７　過去の訓練の様子



今川公園に着陸する消防航空隊



消防航空隊への搬入訓練

区連会 資料 2－1

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 13 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN × EXPO 推進課

横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会の開催及び「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」参加者募集への協力について【情報提供】

1　趣旨

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催し、横浜市出展「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の名称や、市主催催事「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」などの概要を発表しました。また、「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」では、ステージパフォーマンスの参加者を12月28日まで募集しています。

2　お願いしたいこと

【区連長】　ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　内容（添付の記者発表資料をご参照ください）

(1)　「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。また、市内10の大学・専門学校で活動する「EXPO部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートの発表、TDMパートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組を発表しました。

(2)「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」開催決定　ステージパフォーマンス出演者を募集

横浜グリーンエクスポ会期中、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜18区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信いただくイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を開催します。

開催にあたり、音楽やダンス、演劇などのステージパフォーマンス参加者を、12月28日まで募集しています。区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11月2日から募集を開始する予定です。

多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
電話　045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール　da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

令 和 8 年 9 月 29 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
G R E E N × E X P O 推 進 部

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称が「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

横浜市が主催する特別な祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」と「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」

横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートも発表

横浜市は、2027 年３月から開催する横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）の開催半年前を迎え、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催しました。

発表会では、横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「横浜と未来をつなぐ７日間」をテーマに展開する「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や、横浜 18 区民が主役となって各区の魅力を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。

また、市内 10 の大学・専門学校で活動する「EXPO 部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート、TDM パートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組についても発表しました。

＜横浜市出展＞

■横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

「世界の明日（あす）を、みんなでひらく。」をコンセプトとし、「建物空間を活用した発信拠点」と「フィールドを活用した活動拠点」の２か所の出展をお知らせしてきました。

横浜グリーンエクスポのホストシティとして、市民・企業の皆様をはじめ、これまでの各種イベントやワークショップ、ボランティア募集、STYLE100 の取組などを通じて、多くの方々とともに準備を進めています。

これまでに生まれた多様なつながりを横浜グリーンエクスポの場に結集し、さらに開催後の未来へとつないでいきたいという思いを込め、このたび、「建物空間を活用した発信拠点」の名称を「つなぐ横浜館」、「フィールドを活用した活動拠点」の名称を「つなぐ横浜フィールド」に決定し、「つなぐ横浜館」公式 WEB サイトを公開しました。

開幕に向けて、市民・企業の皆様をつなぐ参加型ワークショップの開催等、様々な取組を進めます。

【ロゴデザイン】

つなぐ 横浜館 CIRCULAR LINK YOKOHAMA Hub

つなぐ 横浜フィールド CIRCULAR LINK YOKOHAMA Field

【つなぐ横浜館　公式 WEB サイト URL】
https://yokohama-hub.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜参考＞「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の整備状況

「つなぐ横浜館」は、９月８日に GREEN×EXPO 協会より建物の引き渡しが完了しました。今後、内装や外構の工事を進め、開幕に向けて準備を進めていきます。



「つなぐ横浜館」9 月 8 日撮影

「つなぐ横浜フィールド」も、開幕に向け花壇や休憩スポット、園路などフィールド全体の整備を進めています。



「つなぐ横浜フィールド」9 月 8 日撮影

＜横浜市主催催事＞

■横浜と未来をつなぐ7日間「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」

横浜市出展の取組の一つとして、「世界の明日を、みんなでひらく。」というコンセプトを体現する祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」を、横浜グリーンエクスポ会場で開催します。

循環型都市を目指す横浜市が「チャレンジ」をキーワードに展開する、誰もが楽しみながら参加できる特別な祭典です。

パレードや蝶をモチーフとしたバタフライシンボルオブジェ、プロのアーティストによる音楽ライブ、サーキュラーな暮らしを体感できるパークなどを通じて、新しい未来に向けたさまざまな挑戦を発信します。

【ロゴデザイン】

YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK
グリーンチャレンジウィーク

- 開催日程：2027 年５月 26 日(水)～６月１日(火)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場全体
- ４つのメイン企画：
  - サーキュラーをテーマに心おどる未来の物語に出会う「パレード」
    世界的なアーティストとコラボレーションしたデザイン、リユース素材を活用した衣装やフロートを用いて会場で大規模なパレードを開催します。
  - エネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェ「バタフライ」
    自然の巡りをつなぐ存在である蝶をモチーフにエネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェを設置します。会場を象徴するフォトスポットとしてもお楽しみいただけます。
  - 音楽の力でサステナブルな未来への想いをつなぐ「ライブ」
    世代を超えて多くの皆さまに音楽の力を通じてグリーンな未来に向けてのメッセージをお届けします。
  - サーキュラーな未来の暮らしのヒントが見つかる「パーク」
    サステナブルな暮らしを実践する皆さまが集い、さまざまな体験をお届けします。食の展示・販売や体験型のワークショップ、物品の販売など、実際にグリーンな暮らしを実践いただくための機会をご用意します。

次頁あり

【キービジュアル】



■横浜 18 区民が主役のイベント「ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション」

【ロゴデザイン】

ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション
Yokohama Ichihachi Collection

地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、食とエンターテインメントを通じて、各区の文化、食などの魅力や、活動を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を、横浜グリーンエクスポ会場内で開催します。

来場者と参加する区民の皆さまに新たな出会いやつながりが生まれ、「参加したくなる」「行ってみたくなる」イベントを目指します。

また、開催にあたり、横浜の魅力をともに発信・出演していただける個人・団体の皆さまを募集します。

- 開催日程：2027 年 7 月 21 日(水)～7 月 29 日(木)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場内 大催事広場（仮称）
- 募集期間：
  - ステージパフォーマンス（ダンスや音楽、伝統芸能など）
    募集期間：2026 年 10 月 1 日(木)～12 月 28 日(月)
  - ブース出展（特産品等の提供・PR、食と地産地消等の魅力発信）
    募集期間：2026 年 11 月 2 日(月)～12 月 28 日(月)　（予定）
- 応募ページ URL：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

【横浜市主催催事　公式 WEB サイト URL】
https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜市民参加の取組＞

■市内 10 の大学・専門学校に「EXPO部」が誕生しました！

横浜グリーンエクスポの開催に向け、大学生等が主体となって、エクスポを盛り上げるコミュニティ「EXPO 部」が横浜市内 10 の大学・専門学校で立ち上がりました。

学園祭におけるエクスポの情報発信やプロギングをはじめとする環境にやさしい活動など、学生ならではの発想による取組を展開し、SNS 等を通じて、大学・専門学校と本市が協力し、市内のキャンパスから学生発のムーブメントを生み出します。

EXPO 部のロゴ(標準例)



各大学の EXPO 部代表メンバーが集合(2026年9月)

■横浜ネイチャークエスト「2027 年、横浜グリーンエクスポ開催！横浜の自然を見つけよう！」

横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成を図るとともに、市内の豊かな生物多様性への関心を高めていただくため、いきものコレクションアプリ「Biome (バイオーム)」を活用した参加型企画を実施します。

市民の皆様がスマートフォンを使って、身近な自然やいきものを観察・記録しながら、横浜の豊かな生物多様性を体感していただく企画です。

集まったいきものの情報は、エクスポの会場内イベントで展示する予定です。



- 実施期間： 2026 年 10 月 5 日(月)～2027 年 3 月 31 日(水)
- 対象エリア：横浜市内全域

次頁あり

＜会場への交通アクセス関連＞

■横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート

横浜グリーンエクスポ会場までの公共交通機関によるアクセスは、会場近傍４駅からのシャトルバスのほか、横浜駅、新横浜駅、羽田空港からの直行バスが運行予定です。

さらに、会場と横浜都心臨海部をダイレクトに結ぶバスも運行を予定しています。こちらは、馬車道、野毛、みなとみらい 21 地区への玄関口である桜木町駅、みなとみらいの主要ホテルや横浜ハンマーヘッド、横浜赤レンガ倉庫、関内・関外エリアの BASEGATE 横浜、さらには元町・中華街エリアのローズホテル横浜、山下公園通りのホテルニューグランドといった臨海部の主要な観光拠点を周遊するルートを予定しています。



横浜都心臨海部からの直行バスの運行予定ルート

■TDM パートナーへのインセンティブ追加（ステッカー配布）

会期中の円滑な交通の実現に向けて、交通需要マネジメント（TDM）の取組にご協力いただける企業・団体の皆さまに、「TDM パートナー」として登録のお願いをしています。ご登録いただいた皆さまには、インセンティブをご用意しており、このたび、新たな特典としてトゥンクトゥンクがデザインされた専用ステッカーを追加しました。



配布ステッカー（イメージ）

裏面あり

＜9月 29 日(火)開催 「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」＞



(左から)トゥンクトゥンク、渡邊(わたなべ) 忠則(ただのり) 横浜市会議長、平原(ひらはら) 敏英(としひで) 横浜市副市長、原田(はらだ) 一之(かずゆき) 横浜商工会議所副会頭、ミャクミャク

横浜市は、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を、９月 29 日（火）に横浜市中区の THE LIVE で開催し、横浜市出展や横浜市主催イベントに関する最新情報を発表しました。



(左から)トゥンクトゥンク、ミャクミャク

続いて、横浜グリーンエクスポ公式マスコットキャラクターのトゥンクトゥンクに加え、大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクがスペシャルゲストとして登場。ミャクミャクは、横浜の「Ｙ」と応援を意味する「Ｙｅｌｌ」の頭文字をかけた「Ｙ」ポーズを披露し、横浜グリーンエクスポに向けてエールを送りました。トゥンクトゥンクも一緒に「Ｙ」ポーズを決め、会場を盛り上げました。

また、大阪市長の横山(よこやま) 英幸(ひでゆき)氏からビデオメッセージが寄せられました。大阪・関西万博の経験を踏まえ、早めのチケット購入と早期来場を呼びかけるとともに、「万博のバトンを横浜の皆様へつないでまいりたい」とエールを送りました。さらに、大阪市が大阪府、堺市とともに会場内へブースを出展予定であることにも触れ、「全力で共に歩んでまいります」と、横浜グリーンエクスポの成功に向けた力強いメッセージを寄せました。

加えて、横浜グリーンエクスポをともに盛り上げる横浜市 18 区のマスコットキャラクターを紹介するとともに、トゥンクトゥンクとのコラボレーションポスターを会場内で初公開しました。

<トゥンクトゥンク×横浜市 18 区キャラクターとのコラボレーションポスター　一例>



瀬谷区



旭区



緑区

次頁あり

お問合せ先

（開催半年前メディア発表会・コラボレーションポスターについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　古市　　TEL　045-671-4866
（横浜市出展　発信拠点について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　幡野　　TEL　045-671-3787
（横浜市出展　市民活動フィールドについて）
みどり環境局戦略企画課担当課長　岩ヶ谷　　TEL　045-671-4423
（YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK、ヨコハマ 18 コレクションについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　西城　　TEL　045-671-3788
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL　045-671-2033
（EXPO 部について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　長谷部　　TEL　045-671-2102
（横浜ネイチャークエストについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　安藤　　TEL　045-671-3786
（直行バスについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　山崎　　TEL　045-671-4832
（TDM について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　原田　　TEL　045-671-3789

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令和 8 年 10 月 1 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN×EXPO 推進部

横浜グリーンエクスポで横浜 18 区の魅力を発信
「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント
「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」開催決定
本日からステージパフォーマンス出演者を募集します

2027 年に開催される「横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）」の会期中、市内 18 区の特色や魅力を、区民の皆さまが発信する横浜市主催イベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」を開催します。また、本日 10 月 1 日（木）から、ステージパフォーマンスへの出演者の募集を開始します。

本イベントでは、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜市 18 区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信します。

このたび募集するステージパフォーマンスでは、音楽、ダンス、演劇など幅広いジャンルを募集します。なお、区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11 月 2 日（月）から募集開始予定です。
多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

裏面あり

■募集概要

イベントの開催にあたり、ステージパフォーマンスを通じて横浜の魅力を発信していただける個人・団体の皆さまを募集します。詳細は特設 Web サイトに掲載する募集要項をご確認ください。

１．募集ジャンル

音楽、ダンス、パフォーマンス、演劇　等

※ブース出展については 11 月２日（月）に改めて募集を予定しています。

２．応募資格

- 個人：市内に在住・在勤・在学していること
- 団体：市内に在住・在勤・在学している人が、出演者に含まれていること

３．募集期間

2026 年 10 月１日（木）から 12 月 28 日（月）まで

４．応募方法

- 電子メール・郵送・応募フォームにて受付。
- 詳細な応募手順や申請書類のダウンロードは、特設 Web サイトをご確認ください。

  ※電子メール及び郵送は 10 月１日（木）から受付を開始します。応募フォームについては 11 月上旬に受付開始予定です。

５．問合せ先

ヨコハマ 18 コレクション運営事務局

電話：050-8888-9556（平日 10:00 から 18:00）

メールアドレス：yokohama18@dna-ex.co.jp

■「ヨコハマ 18 コレクション」概要

- **開催時期**：2027 年７月 21 日（水）から７月 29 日（木）まで
- **会場**　　：横浜グリーンエクスポ 会場内（大催事広場（仮称））
- **主催**　　：横浜市
- **主な内容**：
  - **ステージパフォーマンス：**
    ダンスや音楽、伝統芸能などのパフォーマンスを通じて、幅広い世代が楽しめるにぎわいの場を創出し、地域の魅力を発信。
  - **ブース出展**：特産品の提供・PR、食や地産地消等の魅力を発信。

- **特設 Web サイト**：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

お問合せ先
GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL：045-671-2033

区連会 資料２－２

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 ８ 年 １０ 月 １３ 日
資 源 循 環 局 業 務 課

年末年始の資源とごみの収集日程について

１　事業の趣旨

本年度の年末年始の資源とごみの収集は以下のとおり行いますので、自治会町内会長様へお知らせをさせていただきます。(詳細は、裏面資料参照)

また、班回覧の中止に伴い、自治会町内会掲示版へのチラシの掲出をお願いいたします。チラシの配布につきましては、11 月下旬に各自治会・町内会へ配送させていただきますので、よろしくお願いいたします。

２　お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で周知をお願いします。
【単位会長】定例会等で周知していただき、掲示板へのチラシ掲出をお願いします。

３　年末年始の収集日程について

(1)　12 月 31 日（木）から１月３日（日）まで、収集をお休みさせていただきます。
(2)「燃やすごみ」「資源物」について、年末は 12 月 30 日（水）まで、年始は１月４日（月）から通常の曜日どおり収集します。

４　広報について

(1)　自治会町内会掲示板へのチラシ掲出
※11 月下旬に各自治会町内会へ配送させていただきます。
(2)　各集積場所に収集日程表を貼付
(3)　広報よこはま 12 月号（市版）
(4)　ごみ収集車によるアナウンス
(5)　市・局ホームページへの掲載
(6)　LINE・X（旧 Twitter）などへの掲載

５　資料（裏面）

年末年始の資源とごみの収集日程

担当：業務課計画係（収集日程に関するお問合せ）
業務課運営係（広報に関するお問合せ）
電話：671-2551（計画係）、671-3815（運営係）
FAX ：業務課 662-1225

年末年始の資源とごみの収集日程

12月31日（木）から1月3日（日）まで、収集はお休みさせていただきます

※「古紙・古布」は、実施している団体か回収業者にお問合せください

- 年末も、**資源とごみの分別と減量にご協力をお願いします。**
- 資源とごみは、**各収集日の 朝8時まで にお出しください。**
  （年末年始の期間は、通常と収集時間が変わることがあります。）
- 収集がお休みの日は、資源とごみを絶対に出さないでください。
- 分別されていないものは収集できません。



横浜市資源循環局マスコット イーオ

月日		燃やすごみ・燃えないごみ スプレー缶・電池類	プラスチック資源	缶・びん・ペットボトル 小さな金属類
12月	28日（月）	通常の曜日どおり収集します		
	29日（火）	通常の曜日どおり収集します		
	30日（水）	通常の曜日どおり収集します		
	31日（木）	収集はお休みです		
1月	1日（金）			
	2日（土）			
	3日（日）			
	4日（月）	通常の曜日どおり収集します		
	5日（火）	通常の曜日どおり収集します		
	6日（水）	通常の曜日どおり収集します		

※古紙・古布
横浜市の収集ではありません 実施している自治会・町内会等か、回収業者へ直接お問合せください

粗大ごみの申込み

電話でのお申込みは12月31日（木）から1月3日（日）までお休みします。

※12月のお申込みは特に混み合い、年内の収集にお伺いできない場合がございます。

横浜市 粗大ごみ 2次元コード

⇦ 粗大ごみのお申込みについてはこちらから
又は、インターネットで「横浜市　粗大ごみ」と検索

12月30日正午から1月3日までにお申し込みされた方への返信（収集日等のお知らせ）は、1月4日以降になります。

横浜市は1月19日から、道路などの屋外の公共の場所は禁煙です。

詳細はこちら

令和8年度　横浜市資源循環局

区連会 資料２－３

区連会 10 月定例会説明資料
令和 8 年 10 月 19 日
みどり環境局
戦略企画課
総務局税務課

横浜みどりアップ計画[2024-2028]2年目の実績報告について【情報提供】

1　報告の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

2024 年４月からは４期目となる新たな５か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、２年目の 2025 年度を振り返り、取組の成果をまとめた実績報告書を作成しましたのでご報告いたします。

2　お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　配布資料

（１）　横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版冊子
（２）　２年目（2025 年度）の実績概要
（３）　２年目（2025 年度）の区別実績
（４）　「横浜みどり税」の説明チラシ
（５）　横浜みどりアップ計画の制度ガイド

【問合せ】
横浜みどりアップ計画の広報に関すること
みどり環境局戦略企画課　TEL：671-2712　FAX：550-4093

横浜みどり税に関すること
総務局税務課　TEL：671-2253　FAX：641-2775

横浜
みどりアップ計画













横浜みどりアップ計画［2024-2028］（概要版）

横浜みどりアップ計画

暮らしのなかに
ふと気づけば緑があるということ

毎日の生活を豊かに、そして未来を担う子どもたちに、
横浜の豊かな緑をつなげていくため
市民の皆様とともに「横浜みどりアップ計画」を進めていきます。



美しく潤いのある
景観



暑さを和らげる



環境教育・農体験

横浜
みどりアップ計画

「横浜みどりアップ計画」は、
「横浜市水と緑の基本計画」の重点的な取組として
策定された5か年計画です。
緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を
次世代に継承するため、
「横浜みどり税」を財源の一部に
活用し取組を推進しています。



健康づくり・
レクリエーション



多様な生き物の
すみか



防災・減災

暮らしを支え、豊かにする緑

緑は、都市環境を形成する主要な要素です。
暮らしに潤いを与えるだけでなく、防災・減災に資する機能をはじめとした
グリーンインフラとしての多様な機能を有しています。
そして、これらの機能が発揮されることで、地球温暖化対策や
SDGsの達成に寄与し、ネイチャーポジティブ※の実現にもつながっていきます。

防災・減災




雨を蓄えて浸水被害を抑えるほか、
オープンスペースとして避難場所や
火災延焼防止機能などの
防災・減災につながっています。

健康づくり・レクリエーション




散策をはじめ、市民の身近な遊び場、
憩いの場、健康づくりの場
となっています。

環境教育・農体験




自然とふれあう環境が身近にあることで、
暮らしを取り巻く環境に対する興味や
関心を持つきっかけとなっています。

暑さを和らげる




木陰の涼しさや、まとまった緑地が
日中の気温上昇を抑えるなど、
暑さを和らげる効果があります。

美しく潤いのある景観




快適で美しく潤いのある景観や、
自然と歴史に基づく個性と
風格のある景観をつくっています。

多様な生き物のすみか




樹林地や農地などが、健全に保たれ、
まとまりやつながりを持つことで、
多様な生き物のすみかとなっています。

地産地消

街の魅力向上・賑わいの創出

コミュニティ形成

文化

※ネイチャーポジティブ：「生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」ことを意味し、2022年の国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で設定された新たな国際目標において、その方向性が明確に示されている。

緑とともにある横浜の暮らし

横浜の中心市街地から少し郊外へ行くと、多様な生き物が暮らす豊かな森や、水田・畑地が広がる美しい農景観が保全され、緑が街を包みこんでいます。街なかに目を向けると、樹々や花が美しく彩られ、潤いと賑わい、街並みに風格をもたらしています。横浜には、市民・企業の皆様とともにまもり、つくり、育んできたかけがえのない緑が暮らしの身近な場所にあります。



横浜みどりアップ計画［2024-2028］の方向性

多様なコミュニティの形成や市民活動の支援の拡充

全市域に広がっている緑や花に関する活動への支援を充実させ、さらに展開させることで、活発な市民活動が行われている姿を目指します。

地域で取り組む緑化活動





森を支える森づくりボランティア



市民が緑に関わる取組のさらなる展開

市民が緑にふれ、感じることができるよう、魅力的な空間づくりや体験イベントの開催をはじめ、これまで確保してきた緑のストックの一層の活用を進めます。

緑花による魅力ある空間づくり



農体験



地産地消にふれる機会



身近な緑の着実な確保と維持管理による質の向上

引き続き身近な緑の場を保全・創出して良好な育成を進めることで、都市環境を形成する主要な要素である緑のもつ多様な機能を効果的に発揮させていきます。

まちなかでの緑の創出・育成

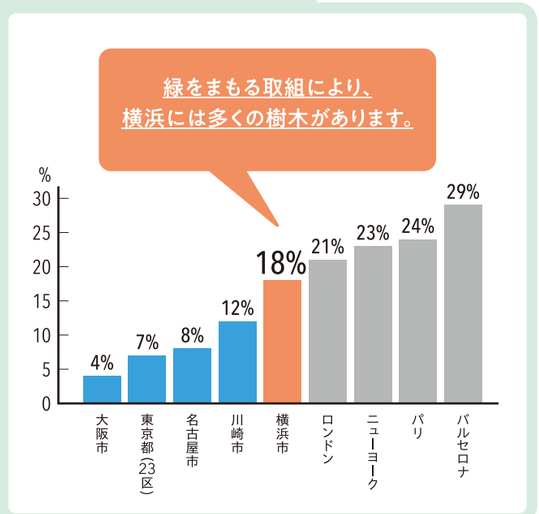


森の保全と 良好な育成



取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝え、取組の共感と、緑のある暮らしの実感につながる広報を展開。

［都市別］
樹木エリアの割合比率



Googleの温室効果ガス排出量推計ツール
(EIE：Environmental Insights Explorer)より
https://insights.sustainability.google/



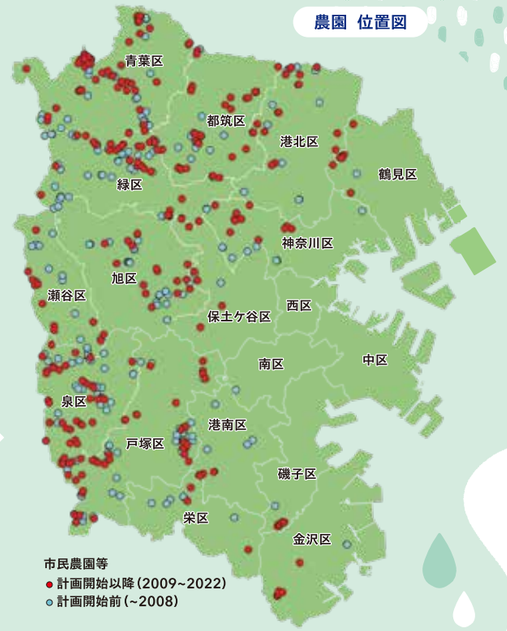
農に親しむ

–横浜の農園で収穫体験–

ココに横浜※みどり税

実は農業も盛んで、農地面積は県内ナンバー1。暮らしに身近な「農」が横浜の魅力です。市内には、野菜や果物の収穫を気軽に体験できる農園から、本格的な農作業ができる農園まで、多くの農園があります。農体験に参加したり、横浜で採れた旬の野菜や果物などを味わったり、横浜ならではの農の魅力を感じてみませんか。

※収穫体験農園開設支援・農園付公園の整備









みどりアップ計画による体験・イベントスポットはこちら!









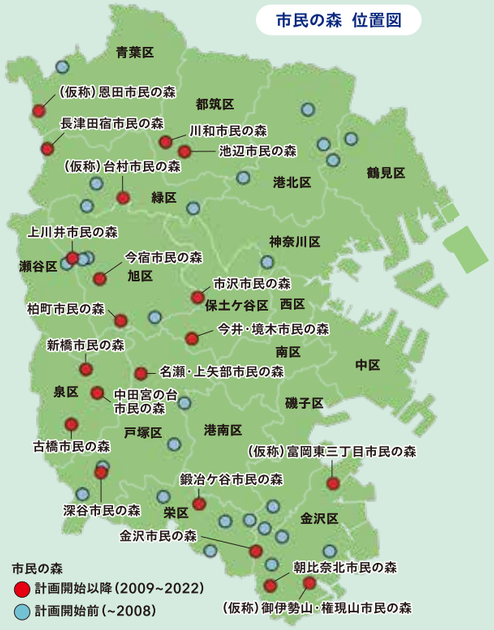
森を愉しむ

–市民の森を散策–

ココに横浜※みどり税

市内には、散策が楽しめる市民の森が43か所あります。また、市内5か所には「ウェルカムセンター」があり、子どもから大人まで幅広い方々が、横浜の森を知って親しみ、楽しむことができるよう、情報の発信やイベントの開催をしています。横浜の森で自然を感じてみませんか。

※市民の森の整備・維持管理











街なかで緑や花を感じる

–季節を感じる街歩き–

ココに横浜※みどり税

街を歩けば、地域で育まれた緑や花を感じることができます。横浜では、多くの市民力により、地域ならではの緑や花の空間が彩られています。地域で取り組む緑化活動は、人と人とのつながりを生むことも。緑や花に季節を感じながら、街歩きを楽しんでみませんか。

※地域緑のまちづくり事業

地域緑のまちづくり 実施地区

（地域主体となった緑化活動）



● 地域緑のまちづくり協定締結地区

（2022年度末時点）

横浜みどりアップ計画［2024-2028］の体系・5か年事業費

計画の理念

みんなで育む
みどり豊かな美しい街
横浜

5か年の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む　事業費 303億円（86億円）

施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用	事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	252億円（37億円）
	事業② 良好な森の育成	46億円（46億円）
	事業③ 森に関わる多様な機会の創出	5億円（3億円）

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる　事業費 34億円（10億円）

施策1 農に親しむ取組の推進	事業① 良好な農景観の保全	11億円（4億円）
	事業② 農とふれあう場づくり	20億円（7億円）
施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進	2億円（–）
	事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開	0.7億円（–）

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる　事業費 77億円（46億円）

施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	事業① まちなかでの緑の創出・育成	33億円（26億円）
施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	事業② 緑や花があふれる地域づくり	12億円（6億円）
	事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	4億円（0.8億円）
	事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	27億円（14億円）

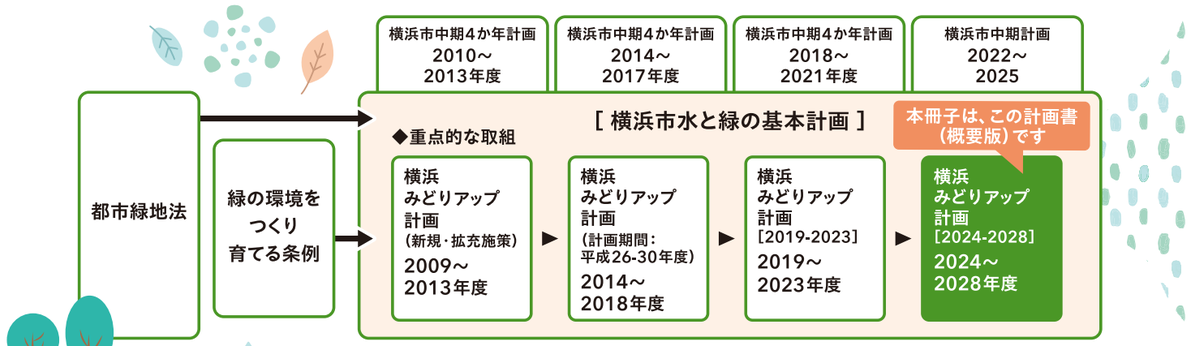
効果的な広報の展開　事業費 0.8億円（–）

事業① 市民の理解を広げる広報の展開	0.8億円（–）

総事業費 415億円（142億円）

※事業費の（　）はうちみどり税を記載しています。端数調整により合計値が整合しない場合があります。

計画の位置付け



横浜みどりアップ計画[2024-2028]を進めるにあたって

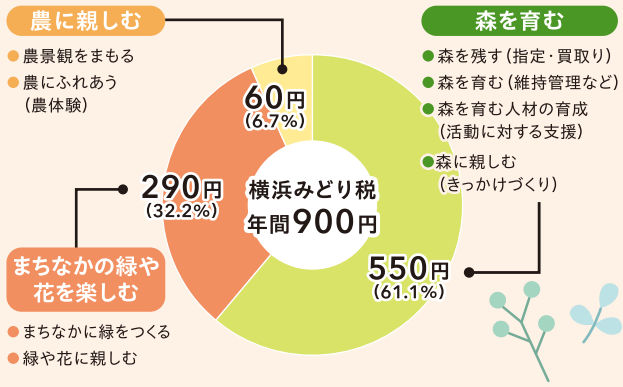
計画を進めるための財源について

横浜市では、緑の保全・創出に取り組むために必要な安定的な財源を確保するため、2009（H21）年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、引き続き2024（R6）年度から2028（R10）年度までのご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用していきます。

対象	税率
個人	市民税の均等割に年間900円上乗せ※
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額

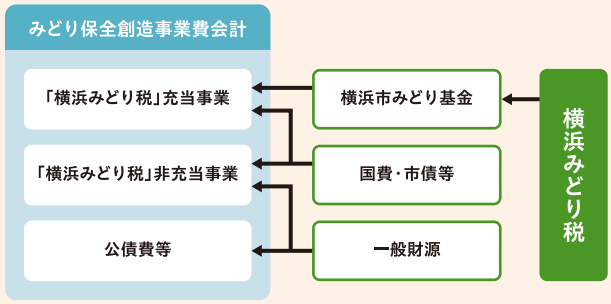
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除きます。

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどり基金と特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。
また、横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業費等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。



横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が2009（H21）年に設置され、2012（H24）年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けられています。
市民推進会議では、みどりアップ計画の取組の検証や現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめています。


全体会議


現地調査

市民推進会議についてはこちら

お問合せ先 「横浜みどりアップ計画」について：みどり環境局戦略企画課　TEL：045-671-4214　FAX：045-550-4093　mk-mimiplan@city.yokohama.lg.jp
「横浜みどり税」について：総務局税務課　TEL：045-671-2229　FAX：045-641-2775　so-zeimu@city.yokohama.lg.jp

横浜みどりアップ計画[2024-2028]〈冊子〉は、次の場所で閲覧できます。

●各区役所の広報相談係　●市民情報センター（市庁舎3階）　●みどり環境局ウェブサイト

横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版　令和6年6月発行
編集・発行：みどり環境局戦略企画課

みどりアップ計画[2024-2028]はこちら

2025年度の実績概要と今後の展望

横浜市では、緑の保全・創出を進め、横浜の緑を次世代に引き継ぐため、2009年度から「横浜みどりアップ計画」に取り組んでいます。2024年度からは、第4期となる「横浜みどりアップ計画［2024－2028］」に基づき、市民の皆様とともに、森や農、緑や花を身近に感じられるまちづくりを進めています。

柱 1　市民とともに次世代につなぐ森を育む （2-8～2-23）

市内の樹林地を保全するため、緑地保全制度による40.7haの樹林地の新規指定や、17.8haの買取り対応を進めたほか、市民の森を2か所開園しました。引き続き、樹林地の指定・買取り・整備を着実に進めるとともに、多様な主体との連携により、森づくりの担い手育成と、市民が森に関わる機会の充実を図ります。

柱 2　市民が身近に農を感じる場をつくる （2-24～2-47）

市内の水田112.3haを維持し、良好な農景観を保全するための支援をしました。また、収穫体験農園や横浜ふるさと村、恵みの里での農体験、直売所等の開設、はまふぅどコンシェルジュの活動などを支援し、農とのふれあいや地産地消を推進しました。引き続き、農景観の保全と身近に農とふれあえる場づくりを進め、市民・企業等との連携も深めていきます。

柱 3　市民が実感できる緑や花をつくる （2-48～2-69）

横浜開港資料館など3か所の緑地を再整備したほか、桜並木等の再生、地域の緑化活動への支援、保育園や幼稚園、小中学校など子どもたちが過ごす施設40か所において緑を創出するとともに、都心臨海部や新横浜駅周辺の14か所で緑や花による良好な空間づくりを進めました。今後も、市民・事業者との協働や継続的な維持管理により、身近な緑や花を育んでいきます。

広報　効果的な広報の展開 （2-70～2-72）

広報紙、デジタルサイネージ、交通広告、イベント出展、こども向けリーフレット等を活用し、「横浜みどりアップ計画」と「横浜みどり税」について幅広い世代への情報発信に取り組みました。今後も緑の取組に関する市民アンケート等を事業改善に生かし、分かりやすく伝わる広報を通じて、計画への理解と共感につなげていきます。

今後の展望

引き続き、各柱の取組を着実に進めることで、市民生活を支え、潤いをもたらす貴重なみどりを次世代に継承していくとともに、保全したみどりを安全で良好に育み、市民の皆様がその魅力や大切さを身近に実感できる取組を一層強化していきます。あわせて、横浜グリーンエクスポを通じて生まれる気づきや行動、人や地域のつながりを、開催後の地域活動や次世代の担い手づくりへ展開し、人と自然が共生する持続可能な都市・横浜の実現につなげていきます。

柱1



長津田町長月特別緑地保全地区（緑区）



上菅田町市民の森（保土ケ谷区）

柱2



上飯田町（泉区）



舞岡ふるさと村（戸塚区）

柱3



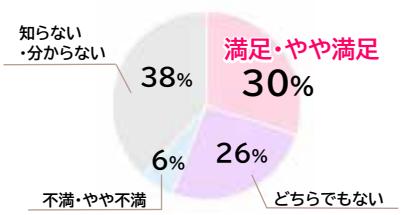
横浜開港資料館（中区）



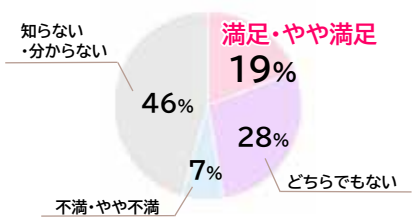
中屋敷保育園（瀬谷区）

市民アンケート※の評価　※2025年度実施　横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

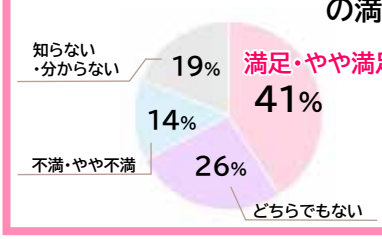
まとまりのある森の保全の満足度



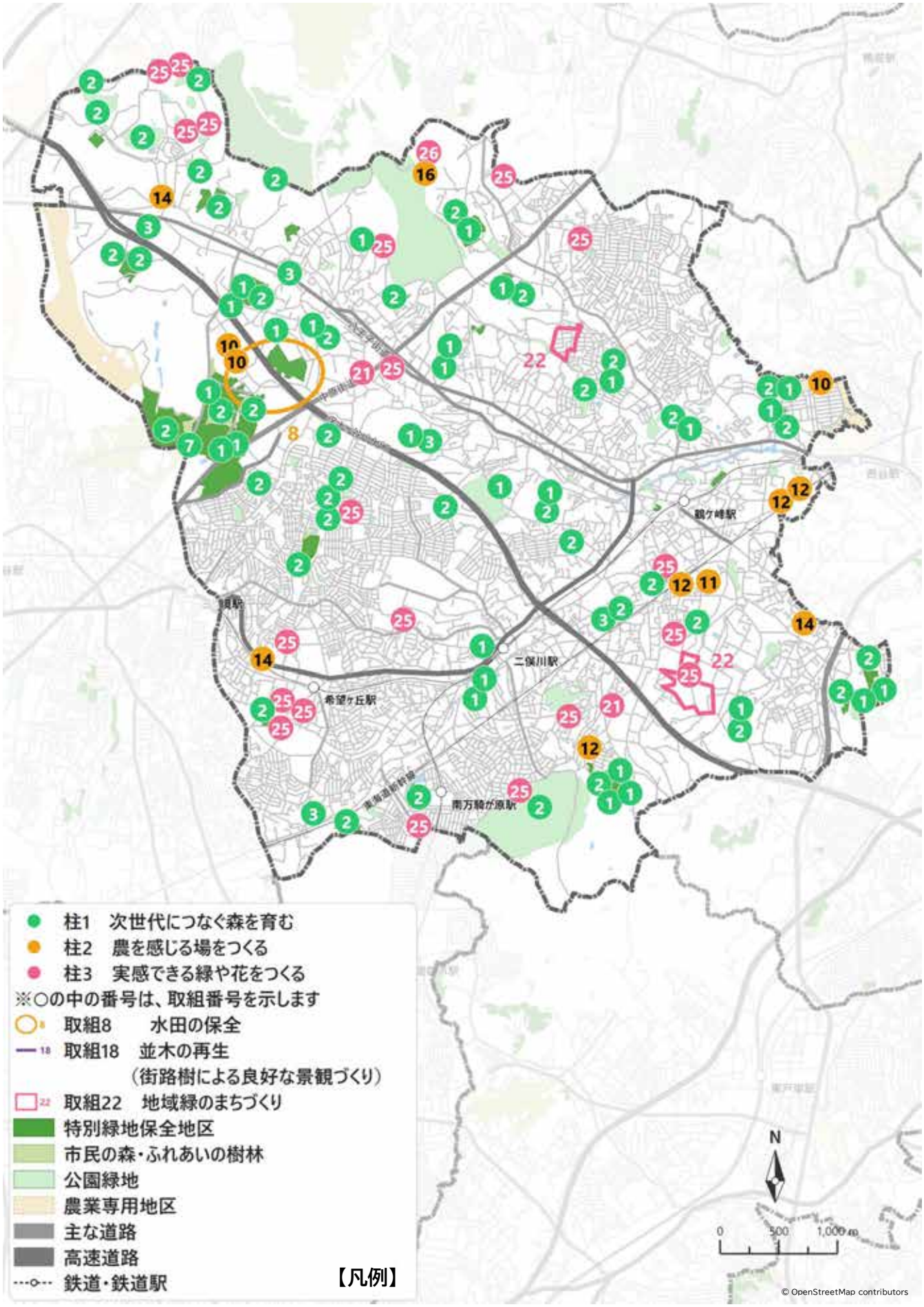
良好な農景観の保全の満足度



街なかなど身近な場所での緑化の満足度



旭区における実績


柱1 次世代につなぐ森を育む
柱2 農を感じる場をつくる
柱3 実感できる緑や花をつくる
※○の中の番号は、取組番号を示します
取組8 水田の保全
取組18 並木の再生
（街路樹による良好な景観づくり）
取組22 地域緑のまちづくり
特別緑地保全地区
市民の森・ふれあいの樹林
公園緑地
農業専用地区
主な道路
高速道路
鉄道・鉄道駅
【凡例】
二俣川駅
希望ヶ丘駅
南万騎が原駅
N
0
500
1,000m
© OpenStreetMap contributors

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

新規指定 白根五丁目特別緑地保全地区



取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

新規指定 南本宿特別緑地保全地区



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組11 多様な主体による農地の利用促進

遊休農地の復元支援 川島町



取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

都岡地区恵みの里での
キャベツ・ブロッコリー収穫体験



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組22 地域緑のまちづくり

左近山地区



取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

地域の花いっぱいにつながる取組
球根の植え付け 善部町第一公園



柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区 1.50ha
白根五丁目特別緑地保全地区／南本宿特別緑地保全地区

市民の森等 0.76ha
南本宿市民の森

緑地保存地区 0.17ha
白根三丁目

源流の森保存地区 2.00ha
市沢町／今宿西町（2か所）／今宿南町／下川井町（3か所）

寄附緑地等 0.02ha
二俣川一丁目公園隣接地

・市による買取り

特別緑地保全地区 3.18ha
市沢町日向特別緑地保全地区／猪子山特別緑地保全地区／今川町西特別緑地保全地区／追分特別緑地保全地区（3か所）／上白根町小池特別緑地保全地区／川井宿町特別緑地保全地区／川井本町特別緑地保全地区／さちが丘特別緑地保全地区

公園樹林部等 37㎡
さちが丘特別緑地保全地区管理用地

・保全した樹林地の整備

5か所 今川町特別緑地保全地区／上白根町後谷特別緑地保全地区／市沢市民の森／南本宿市民の森／猪子山緑地

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 33か所
市沢町特別緑地保全地区／猪子山特別緑地保全地区／今川町特別緑地保全地区／上川井町堂谷特別緑地保全地区／上川井町中田谷特別緑地保全地区／上川井町堀谷特別緑地保全地区／上白根町後谷特別緑地保全地区／上白根町小池特別緑地保全地区／川井本町特別緑地保全地区／川島町二ノ沢特別緑地保全地区／下川井町特別緑地保全地区／善部町特別緑地保全地区／都岡町特別緑地保全地区／中沢二丁目特別緑地保全地区／三保特別緑地保全地区（旭区分）／市沢市民の森／今宿市民の森／追分市民の森／柏町市民の森／上川井市民の森／南本宿市民の森／矢指市民の森／市沢ふれあいの樹林／白根ふれあいの樹林／鶴ケ峰ふれあいの樹林／猪子山緑地／今宿第二緑地／今宿二丁目一号緑地／笹野台緑地／笹野台三丁目緑地／二俣川ニュータウン緑地／若葉台一丁目緑地／若葉台四丁目緑地

公園 9か所
今宿東公園／大貫谷公園／希望が丘水の森公園／こども自然公園／四季美台ふれあい公園／白根公園／桧山公園／南本宿公園／若葉台公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

7か所 今宿南町／上川井町（2か所）／川井本町（2か所）／善部町／本宿町

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

樹林地 2団体

●取組7 森の多様な楽しみづくり

・地域における多様な森の利活用

1回 「瀬谷・旭にまたがる4つの市民の森を巡ろう！ 森の健康ウォーキング～GREEN×EXPO 2027 開催500日前～」※瀬谷区にも記載しています

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

0.79ha 下川井町／矢指町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 2件
下川井農地整備組合／西谷農業専用地区協議会

農地縁辺部への植栽 2件
都岡地区恵みの里運営協議会／下川井農地整備組合

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.72ha
上川井町（3か所）／下川井町

●取組11 多様な主体による農地の利用促進

・遊休農地の復元支援

0.15ha 川島町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園 0.04ha
西川島町

市民農園 0.41ha
川島町・三反田町／西川島町／南本宿町

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 30回
都岡地区恵みの里での秋野菜づくり体験教室、枝豆づくり体験教室、さつまいもづくり体験教室など

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所　3件

市沢町／上川井町／東希望が丘

●取組16 市民や企業等との連携

・市民や企業等との連携

企業等と連携した地産地消の推進

春の里山ガーデンフェスタにおける地産地消サポート店のキッチンカー出店（里山ガーデン）／秋の里山ガーデンフェスタにおける地産地消サポート店のキッチンカー出店（里山ガーデン）

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理　525本

ニュータウン通り／今宿南郵便局通り

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成　2件

下川井町（1件）／南本宿町（1件）

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援　1地区

左近山地区

協定締結終了地区の支援　1地区

上白根国際地区（2年目）

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

旭オープンガーデン／公園愛護会管理の花壇設置

身近な公共施設での緑の育成　4か所

旭区庁舎／ふるさと尾根道緑道／旭図書館／白根地区センター

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布（白根寺下第三公園など95か所）／花苗の配布（白根寺下第三公園など22か所）／堆肥の配布（白根寺下第三公園など95か所）

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

704本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出　6か所

ひかりが丘保育園／プレスクール若葉幼稚園／幼保連携型認定こども園若葉台こども園／希望ケ丘小学校／中尾小学校／南希望が丘中学校

緑の育成　18か所

柏保育園／左近山保育園／中希望が丘保育園／鶴ヶ峯幼稚園／幼保連携型認定こども園若葉台こども園／上白根小学校／川井小学校／希望ケ丘小学校／都岡小学校／中尾小学校／東希望が丘小学校／万騎が原小学校／南本宿小学校／若葉台小学校／旭中学校／本宿中学校／南希望が丘中学校／若葉台特別支援学校

●取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

・緑花による魅力づくり

1か所　里山ガーデン

よこはまの緑を
未来を担う
子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様に「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。

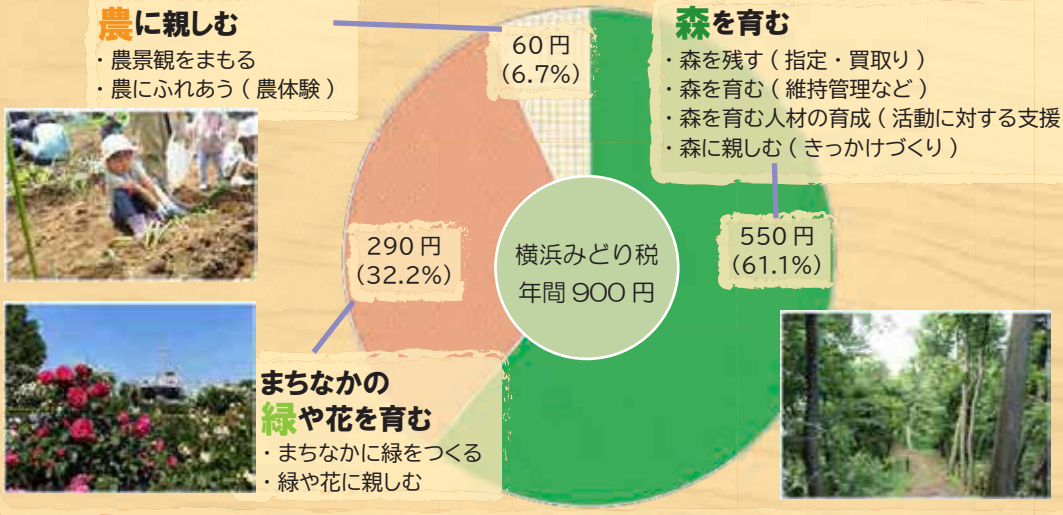


横浜みどり税の使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実による みどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどりアップ計画［2024−2028］

計画の理念　みんなで育む　みどり豊かな美しい街　横浜

５か年の目標

・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

みどり税を活用した取組

市民とともに次世代につなぐ森を育む

５か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に農を感じる場をつくる

５か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる緑や花をつくる

５か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様に取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開

森林環境税（国税）と横浜みどり税



Q　国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？

A　目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和６年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で 譲与 （令和5年度までは、 地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について
▶区役所税務課　または　総務局税務課　電話：045-671-2253　FAX：045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画[2024−2028]」について
▶みどり環境局戦略企画課　電話：045-671-4214　FAX：045-550-4093

令和８年４月　横浜市総務局税務課

横浜みどりアップ計画

地域・個人で利用できる！横浜みどりアップ計画の制度ガイド

～ 街の緑が、暮らしを豊かにする ～

横浜みどりアップ計画には、**地域や個人の方が利用できる制度**もあります。
「こんなことがしたい」から探せるようにまとめています。

地域・団体で取り組む　個人・ご家庭で使える　参加・受講する

地域・団体で取り組む

①

地域で花植えや植樹に取り組みたい
制度名：地域緑のまちづくり

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】住宅地・商店街などで、地域にふさわしい緑を増やす取組を支援します。
【支援内容】最大3年間 1,500万円まで （整備費90%以内 ほか）
【対象】地域が主体となって緑化計画を提案する団体（選考あり）

②

森づくりの活動を充実させたい
制度名：森づくり活動団体への支援

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】保全管理計画づくり、研修、道具の貸出し、チップ化作業、アドバイザー派遣などをサポートします。
【支援内容】研修・道具貸出・アドバイザー派遣等の各種サポート
【対象】市民の森・都市公園内などの樹林地で活動する団体

個人・ご家庭で使える

③

家族の思い出になる木を育てたい
制度名：人生記念樹の配布

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】出生・結婚などの記念に、市内で生産された記念の苗木をお渡しします。
【支援内容】記念の苗木を配布（年2回・6月頃と10月頃／市内各所で配布）
【対象】記念を迎える横浜市民（郵送・インターネットで申込）

④

歴史ある樹木を次世代に残したい
制度名：名木古木の保存

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】町の象徴として親しまれてきた由緒ある樹木を「名木古木」に指定し、保存を支援します。
【支援内容】診断50%（上限4万円）・治療50%（上限30万円）・管理50%（上限20万円）
【対象】由緒ある樹木の所有者（指定には審査あり）

⑤

所有している森の管理への支援を受けたい
制度名：樹林地維持管理助成

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】緑地保全制度に指定された民有樹林地の、越境樹木や危険樹木などの管理作業を助成します。
【支援内容】A:樹木管理・草地管理の作業は50万円まで100%（超過分50%）
B:フェンス・土留め設置50%
（AB合わせて上限200万円）
【対象】緑地保全制度に指定されている民有樹林地の所有者

参加・受講する

⑥

森づくり活動に参加したい
制度名：森づくりボランティア

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】入門講座や体験会などに参加でき、横浜の森づくり活動に加わることができます。
【支援内容】各種研修の受講・体験会への参加・情報発信
【対象】18歳以上で市内在住・在学・在勤の個人または市内事業者

⑦

農作業や緑の手入れを基礎から学びボランティアとして活動したい
制度名：市民農業大学講座

【お問合せ先】
環境活動支援センター
045-711-0635

【できること】野菜・果樹・花き・樹木の栽培管理を実習中心で学び、修了後は「農と緑の環境リーダー」として援農や緑化ボランティアで活躍できます。
【講座内容】2年間の講座（1年次35回＋2年次の農家実習10回）（別途受講料あり）
【対象】市内在住67歳以下で、修了後に援農・緑化ボランティアの意思がある方（定員30人・多数時は選考／年1回・2～3月募集）

⑧

横浜の食と農をつなぎ地産地消を広めたい
制度名：はまふぅどコンシェルジュ講座

【お問合せ先】
農業振興課（地産地消担当）
045-671-2639

【できること】横浜の農業・農産物・生産者・食をテーマに、講義・実習・視察で地産地消の理解を深める連続講座です。修了すると「はまふぅどコンシェルジュ」に認定されます。
【講座内容】全5回の連続講座（講義・バスツアー・農体験・料理教室・グループワーク）（別途受講料あり）
【対象】地産地消の実践・普及に積極的に取り組む意思のある方（定員20名・多数時は選考／年1回・3月募集）



◆制度ガイドに関するお問合せ先
みどり環境局戦略企画課
電話 045-671-2712 ／ FAX 045-550-4093
Eメール mk-midorikoho@city.yokohama.lg.jp

◆各事業お問合せ先

区連会　資料３―１

「新たなインターチェンジ整備事業」環境影響評価準備書の縦覧および説明会開催について

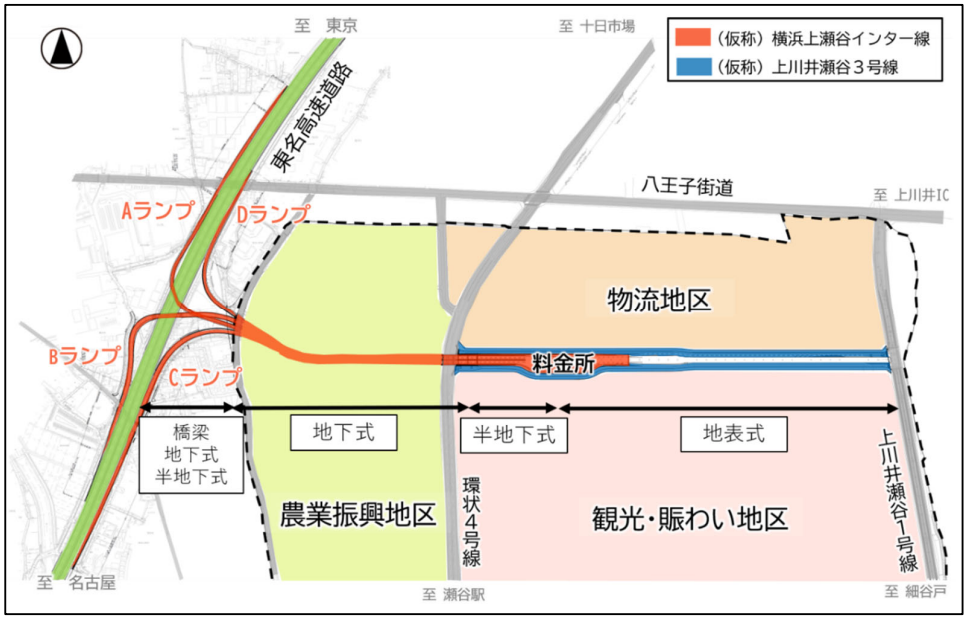
旧上瀬谷通信施設地区に計画している「新たなインターチェンジ整備事業」は横浜市環境影響評価条例に基づき、環境影響評価手続きを実施しています。

この度、「環境影響評価準備書」を作成しましたので、縦覧及び説明会の開催等についてお知らせします。

（参考）令和７年 10 月：方法書の縦覧・説明会開催

※「方法書」とは、環境の事前調査及び影響の予測・評価をする項目や調査・予測の手法などを記載したもの。

※「準備書」とは、方法書等に基づき、環境の事前調査および影響の予測・評価をした結果などを記載したもの。



【準備書の縦覧および説明会等の概要】

（１）準備書の縦覧について

期間：令和８年 11 月 13 日（金）から 12 月 28 日（月）まで　※土日祝日を除く

縦覧場所及び時間：みどり環境局環境影響評価課　　8：45～17：15

瀬谷区区政推進課広報相談係　　8：45～17：00

旭区区政推進課広報相談係　　8：45～17：00

※その他（大和市役所・町田市役所）でも予定しています。

※横浜市ホームページでもご覧いただけます。

（２）準備書の説明会（どちらも同じ内容の説明を行います）

11 月 29 日（日）14 時 30 分～16 時 00 分　（旭公会堂）

11 月 30 日（月）18 時 30 分～20 時 00 分　（瀬谷公会堂）

※横浜市ホームページでも説明動画を公表します。

裏面あり

（３）意見書の提出について（①②どちらかの方法で提出）

期間：令和８年 11 月 13 日（金）から 12 月 28 日（月）まで

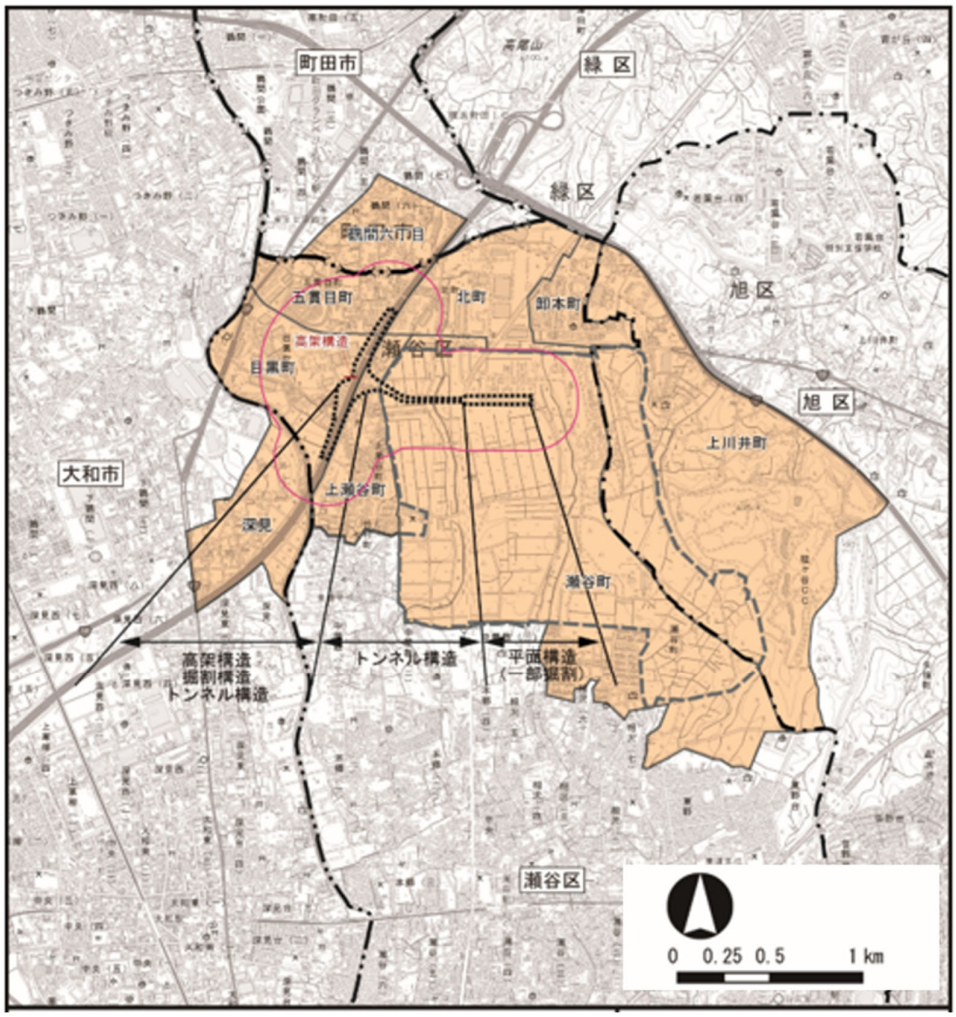
①意見書用紙に記入して、以下の提出先に持参または郵送（当日消印有効）

提出先：みどり環境局環境保全部環境影響評価課　　※土日祝日を除く

②横浜市ホームページ（みどり環境局環境影響評価課）から電子申請で提出

（４）準備書対象地域

準備書対象地域は環境影響を受けるおそれがある範囲を踏まえて、次のとおり設定しました。



※対象地域にお住まいのみなさまに『準備書の縦覧および説明会開催のお知らせ』を各戸ポスティングします。

問合せ先：脱炭素・GREEN×EXPO 推進局　上瀬谷交通整備課　TEL：671-4607

区連会 資料3—2

区連会 10 月説明資料
令和８年 10 月 19 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
上瀬谷整備推進課

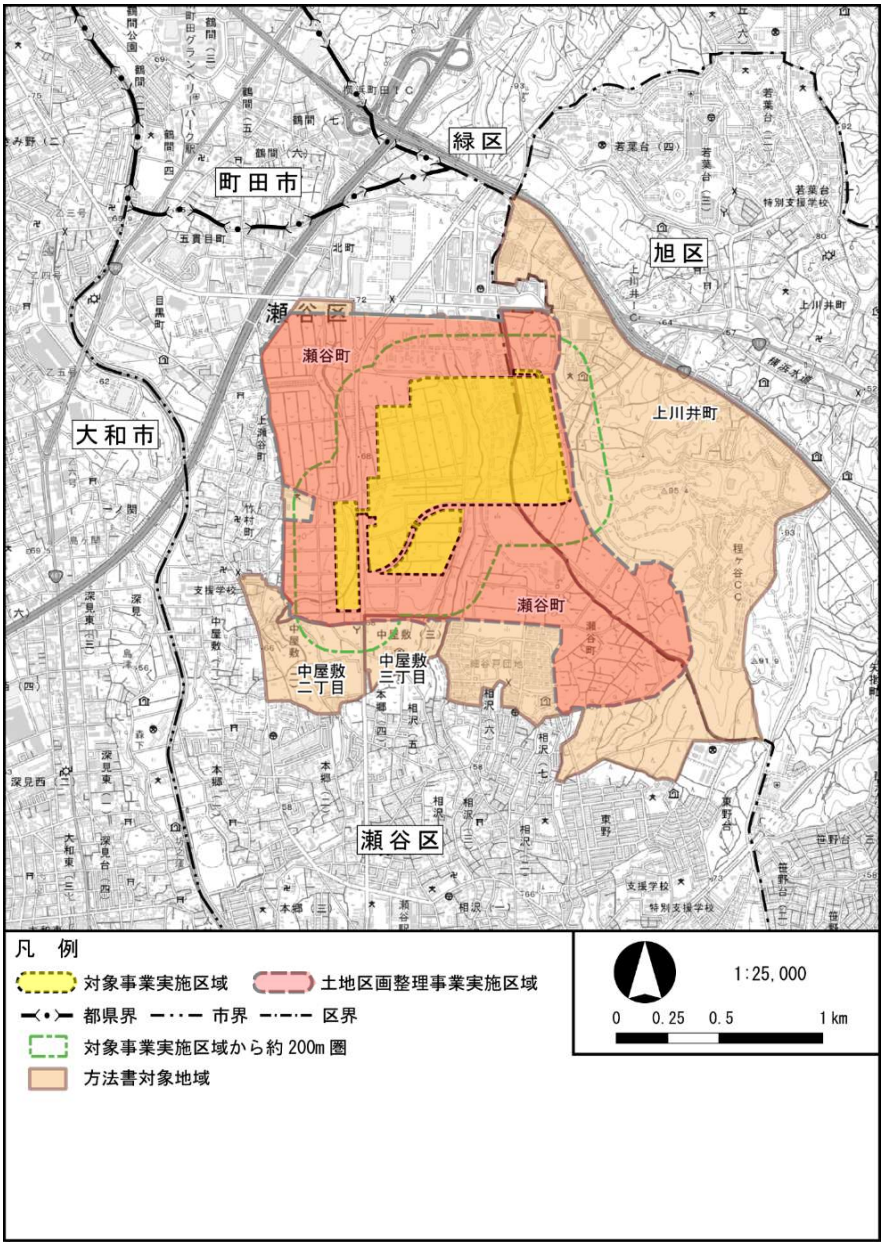
「（仮称）旧上瀬谷通信施設 観光・賑わい地区開発事業」環境影響評価方法書の
縦覧及び説明会の開催について（情報提供）

旧上瀬谷通信施設地区の『（仮称）旧上瀬谷通信施設 観光・賑わい地区開発事業』は横浜市環境影響評価条例に基づき、事業予定者である三菱地所株式会社ほかにより、環境影響評価手続を実施しています。

この度、「環境影響評価方法書」が作成されたことから、その概要と縦覧及び説明会の開催についてお知らせいたします。（参考：令和８年４月：環境影響評価配慮書公告・縦覧）

【方法書対象地域】

方法書対象地域※は、次のとおりです。



※対象事業の実施により環境に著しい影響があると見込まれ、方法書の内容について周知を図る必要がある地域として規則で定める基準に従って事業者が定めた地域

裏面あり

【方法書説明会及び縦覧等の概要】

（１）方法書の縦覧について

期間：令和８年11月13日（金）から12月28日（月）まで　　※土日祝日を除く

（２）縦覧場所及び時間

①みどり環境局環境影響評価課 8：45～17：15

②瀬谷区区政推進課広報相談係 8：45～17：00

③旭区区政推進課広報相談係 8：45～17：00

※横浜市ホームページでもご覧いただけます。
（https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/hozentorikumi/assessment/shinaijigyou/108-mokuji/）

（３）方法書説明会（どちらも同じ内容の説明を事業予定者から行います）

※方法書対象地域にお住まいのみなさまに『方法書説明会及び縦覧のお知らせ』がポスティングされます。（対象地域に加えて、近隣地域の一部にも周知を行います。）

11月21日（土）10時00分～11時30分（瀬谷区民文化センター）

11月25日（水）19時00分～20時30分（旭公会堂）

（４）意見書の提出について

令和８年11月13日（金）から12月28日（月）まで

①意見書用紙にて提出　　※土日祝日を除く

②横浜市 電子申請で提出

※ 意見書提出の詳細については、ポスティング資料又は横浜市ホームページ（https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/hozentorikumi/assessment/asesu.html）をご覧ください。

問合せ先：脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 上瀬谷整備推進課　磯部　TEL：900-0703

区連会 資料 3－3

旭福第 901 号
旭区社協第 281 号
令和 8 年 10 月 1 日

地区別計画推進組織の代表者　各位

横浜市旭区福祉保健課長　　岩澤　健司
横浜市旭区社会福祉協議会事務局長　三木　渉

令和8年度きらっとあさひプラン推進研修開催に伴う御協力について（依頼）

秋雨の候　ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、きらっとあさひプラン（旭区地域福祉保健計画。以下「計画」という。）の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は、第5期計画の初年度にあたり、各地区では地区別計画に基づき様々な活動に取り組まれていることと存じます。

つきましては、このたび、きらっとあさひプラン推進のための研修会を開催いたします。ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、当日のご参加について次のとおりご協力いただきたくお願い申し上げます。

1　依頼事項

各地区別計画推進組織からの参加者のとりまとめをお願いいたします。

お手数ですが、ご参加される方々のお名前について、別紙申込書に必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒、FAX、電子メールにより**令和８年11月27日(金)**までにお知らせくださいますようお願いいたします。

なお、他の地区組織（地区社会福祉協議会等）にも同様の御依頼をいたします。お申し込みの際に地区内でお名前が重複した場合は、事務局で整理いたします。

2　添付資料（参考）

（1）きらっとあさひプラン推進研修　チラシ
（2）きらっとあさひプラン推進研修　申込書

〔お問合せ先〕
旭区福祉保健課（担当：山根、岡田、岸）
電話　954－6143　／　FAX　953－7713

旭区社会福祉協議会（担当：三木、松宮、門脇、杉山）
電話　392－1123　／　FAX　392－0222

令和８年度きらっとあさひプラン推進研修

きらっとあさひプランの実践とこれから

～安心して自分らしく暮らせるまちへ～

日　時　令和８年12月８日（火）
14:00～16:00（開場 13:30～）

※事前申込制

場　所　旭公会堂（旭区鶴ケ峰１-４-12）

対　象　地区別計画の推進にかかわる地域の方



第１部　14:00～15:00

１）第５期地区別計画19地区の取組内容・ポイントについて

２）第５期地区別計画の推進についての事例報告（川井地区）

３）支援機関の推進取組について

第２部　15:10～16:00

〈講話〉

空き家利用の現状と課題について　～地域活動の拠点として活用するためには～

地域のつながりを育み、活動を継続していくためには、身近な地域資源を生かしていくことが大切です。空き家利用の現状や課題を学ぶとともに、地域の居場所や交流の場としての活用事例を通じて、「きらっとあさひプラン」の推進につながる新たな可能性について考えます。

〈コーディネーター・講師〉

神奈川県立保健福祉大学　教授　中村　美安子氏

＜申込方法＞

別添　申込書にご記入いただき、FAXかメールでお知らせください。

＜締切り＞ 令和８年11月27日（金）

＜申込先＞FAX：045-392-0222 ／メール： asahi-ks@ceres.ocn.ne.jp



きらっとあさひプラン
マスコットキャラクター
あさちゃん

主　催

旭区社会福祉協議会/旭区役所

問合せ

旭区社会福祉協議会　TEL:045-392-1123
旭区役所福祉保健課　TEL:045-954-6143

【申込先】旭区社会福祉協議会
ＦＡＸ：392−0222
メール：asahi-ks@ceres.ocn.ne.jp

令和8年度　きらっとあさひプラン推進研修
申込書

申込締切 ： 令和８年11月27日(金)



きらっとあさひプラン
マスコットキャラクター
あさちゃん

所 属 団 体 名 ： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡担当者お名前: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

参加される方のお名前	所 属	ご連絡先(電話番号･メールアドレス) 上記連絡担当者の方がとりまとめる場合は記載不要です。

※5名以上の場合には、表を追加してご記入ください。

区連会 資料 3－4

旭福 第 872 号
旭区社協 第 270 号
令和 8 年 10 月 7 日

地区別計画推進組織の代表者　各位

横浜市旭区福祉保健課長　岩澤　健司
横浜市旭区社会福祉協議会事務局長　三木　渉

第5期旭区地域福祉保健計画（きらっとあさひプラン）地区別計画の振り返りについて（依頼）

秋雨の候 ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、きらっとあさひプラン（旭区地域福祉保健計画。以下「計画」という。）の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は、第5期計画の初年度にあたり、各地区では地区別計画に基づき様々な取組を進めていただいているところです。

つきましては、第5期計画の推進へとつなげるため、本年度の取組状況を振り返り、その内容を地域の皆様で共有していただきたくお願いいたします。

また、本依頼の詳細について、地区別支援チームより別途御連絡いたします。地区別支援チームには、地域の皆様と連携しながら振り返りを支援するよう依頼しておりますので、御承知おきください。

1 令和 8 年度の振り返りの実施について

地区別計画の目標に沿って、令和8年度の取組状況について振り返りを実施してください。

振り返りに当たっては、取組を通じて感じた成果や課題、今後の方向性及び予定等について整理し、地域内で共有していただくようお願いいたします。

（1）実施方法

地区の取組状況にあわせた振り返りの実施をお願いいたします。

実施に当たっては、添付の取組経過シートを参考として御活用ください。参考資料として、様式及び記載例を添付しています。

（2）実施期日

令和9年3月 24 日(水)

※各地区を担当する地区別支援チームのリーダー（係長）から、改めて御案内いたします。

2 その他

次年度（令和 9 年度）は第5期計画の中間振り返りとして、2か年分の取組状況について指定様式による報告をお願いする予定ですので、あらかじめ御承知おきください。

3 添付資料(参考)

（1）第5期地区別計画取組経過シート

（2）第5期地区別計画取組経過シート記載例

〔お問合せ先〕 旭区福祉保健課(担当:山根、岡田、岸) 電話 954－6143 ／ FAX 953－7713	旭区社会福祉協議会(担当:三木、松宮、門脇、杉山) 電話 392－1123 ／ FAX 392－0222

○○ 地区	目指すまちの姿	
	令和8年度の取組予定	令和8年度の振り返り
【目標A】 **地区別計画に記載された、各地区の取組目標が記載されます。**	地区別計画に記載された各地区の取組予定内容が記載されます。	目標Aに向けて、取り組むことができましたか。 □　十分できた □　まあまあできた □　あまりできなかった □　できなかった ＜自由記載＞　※上記の理由や今後の方向性、予定など
【目標B】 **地区別計画に記載された、各地区の取組目標が記載されます。**	地区別計画に記載された各地区の取組予定内容が記載されます。	目標に向けて、取り組むことができましたか。 □　十分できた □　まあまあできた □　あまりできなかった □　できなかった ＜自由記載＞　※上記の理由や今後の方向性、予定など
【目標C】 **地区別計画に記載された、各地区の取組目標が記載されます。**	地区別計画に記載された各地区の取組予定内容が記載されます。	目標Cに向けて、取り組むことができましたか。 □　十分できた □　まあまあできた □　あまりできなかった □　できなかった ＜自由記載＞　※上記の理由や今後の方向性、予定など
【目標D】 **地区別計画に記載された、各地区の取組目標が記載されます。**	地区別計画に記載された各地区の取組予定内容が記載されます。	目標Dに向けて、取り組むことができましたか。 □　十分できた □　まあまあできた □　あまりできなかった □　できなかった ＜自由記載＞　※上記の理由や今後の方向性、予定など

◆令和８年度の振り返りの選択に迷った際は、以下を自由記載欄に転記してご活用ください。

計画通りに取り組んだ取組
（　　）

内容を変更して取り組んだ取組
（　　）

実施しなかった取組
（　　）

予定にはないが実施した取組
（　　）

○○ 地区	目指すまちの姿	
	令和8年度の取組予定	**令和8年度の振り返り**
【目標A】 **地区別計画に記載された、各地区の取組目標が記載されます。**	地区別計画に記載された各地区の取組予定内容が記載されます。	目標Aに向けて、取り組むことができましたか。 □　十分できた ■　まあまあできた □　あまりできなかった □　できなかった ＜自由記載＞　※上記の理由や今後の方向性、予定など ・ふれあいサロンは予定通り毎月開催した。高齢者中心だったが、子育て世帯も参加できるようになってきた。今後は情報発信を強化していきたい。 ・運動会は、運営者側の人員が集まらず、競技数を減らして開催した。来年は、スポーツ推進員に相談したい。
【目標B】 **地区別計画に記載された、各地区の取組目標が記載されます。**	地区別計画に記載された各地区の取組予定内容が記載されます。	目標に向けて、取り組むことができましたか。 □　十分できた ■　まあまあできた □　あまりできなかった □　できなかった ＜自由記載＞　※上記の理由や今後の方向性、予定など 計画通りに取り組んだ取組 （運動会、○○ファーム、支えあい連絡会、ホームページの立ち上げ） 内容を変更して取り組んだ取組 （夏祭り） 実施しなかった取組 （ウォーキング大会） 予定にはないが実施した取組
【目標C】 **地区別計画に記載された、各地区の取組目標が記載されます。**	地区別計画に記載された各地区の取組予定内容が記載されます。	目標Cに向けて、取り組むことができましたか。 ■　十分できた □　まあまあできた □　あまりできなかった □　できなかった ＜自由記載＞　※上記の理由や今後の方向性、予定など
【目標D】 **地区別計画に記載された、各地区の取組目標が記載されます。**	地区別計画に記載された各地区の取組予定内容が記載されます。	目標Dに向けて、取り組むことができましたか。 □　十分できた □　まあまあできた ■　あまりできなかった □　できなかった ＜自由記載＞　※上記の理由や今後の方向性、予定など

◆令和８年度の振り返りの選択に迷った際は、以下を自由記載欄に転記してご活用ください。

計画通りに取り組んだ取組
（　　）

内容を変更して取り組んだ取組
（　　）

実施しなかった取組
（　　）

予定にはないが実施した取組
（　　）

横浜市　自治会町内会館
脱炭素化推進事業補助金 【案】

区連会 資料 3－4

横浜
温室効果ガス排出量 50％
削減を目指しています

令和8年度も

自治会町内会館の脱炭素化を応援します！

補助率 2/3

対象製品 LED照明器具

蛍光灯は令和９年末で製造廃止予定のため、
今後品薄となることが予想されます。
今のうちに LED への交換をご検討ください。

補助上限額
60万円

省エネ性能 ★★★★☆4.0

・統一省エネラベル省エネ性能★４つ以上
・省エネ型製品情報サイト未掲載の場合
　トップランナー基準達成製品

電球形 LED ランプのみの
交換も対象
（トップランナー基準達成製品）

対象製品 エアコン

補助上限額
130万円

家庭用 省エネ性能 ★★☆☆☆2.4
統一省エネラベル省エネ性能
★2.4 つ以上

業務用 トップランナー基準達成製品

対象製品 断熱窓など

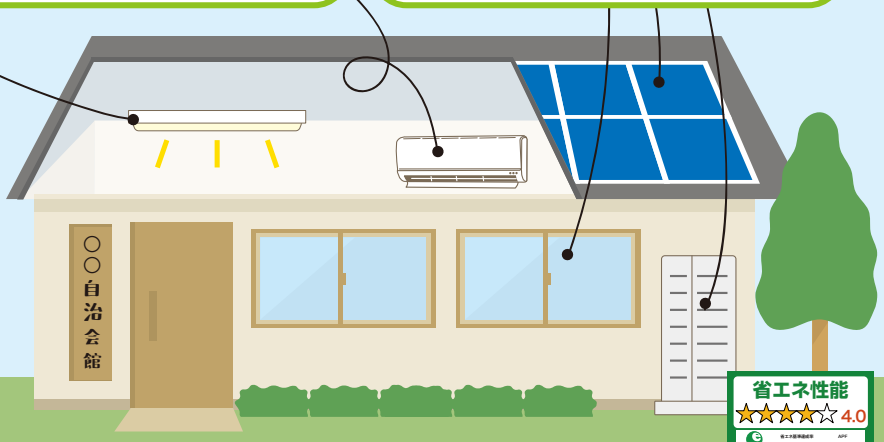
断熱窓　太陽光発電設備　蓄電池

補助上限額
合算で **200万円**

いずれかの実施でも申請ができます。
※断熱窓：会館の状況により、補助基準に合う
製品が見当たらない場合はお問合せください。

対象製品の要件、申請手続き等の詳細は「募集案内」をご確認ください。

横浜市 会館脱炭素



統一省エネラベル：家電の省エネ性能を分かりやすくラベルで表示したもの。
星の数が多いほど省エネ性能が高いことを表しています。



対象団体

会館を所有している※ **自治会町内会**（地区連合町内会を含む）

※会館を自己所有していない場合や、集合住宅等の集会所を活動の拠点としている町内会等も補助対象となる場合があります。
詳しくは募集案内をご確認ください。

申請期限

令和8年~~10月30日(金)~~まで

11月２日(月)の受付再開後、申請期限は
12月25日(金)までに変更となります！

※予算上限に達し次第、申請受付を終了します。

※令和９年２月末までの整備完了が対象

令和８年４月発行

導入効果

LED 照明器具

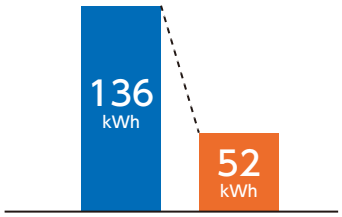
年間 CO_2排出量　1台あたり

約 **38kg 削減！**

年間電気代

約 **2,600円おトク！**

年間消費電力量（kWh/ 年）



出典：スマートライフおすすめ BOOK2023 年度（蛍光灯シーリングライトの年間消費電力量部分）
※今回の対象製品（令和６年１月時点）の平均値との比較
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出

エアコン

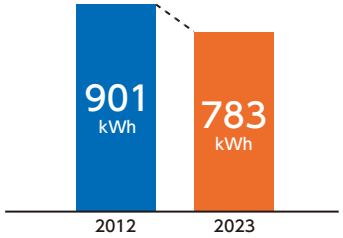
年間 CO_2排出量　1台あたり

約 **53kg 削減！**

年間電気代

約 **3,700円おトク！**

年間消費電力量（kWh/ 年）



出典：スマートライフおすすめ BOOK2023 年度（2012 年製品の年間消費電力量部分）
※今回の対象製品（令和６年１月時点）の平均値との比較
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出

断熱窓

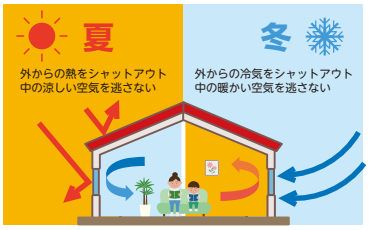
冷暖房費削減効果
（施工前との比較）

年間 CO_2排出量

約 **340kg 削減！**

年間電気代

約 **23,600円おトク！**



出典：民間事業者が一般公開しているシミュレーションによる
※躯体の断熱性能は、リフォームの場合は昭和 55 年省エネ基準適合レベルでそろえて算出
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出
※戸建て、窓 10 枚で算出した数値

※一定条件のもと、住宅での使用を想定したものであり、自治会町内会館の実際の使用状況により、導入効果は異なります。

手続きの流れ

意思決定・書類準備 ▶ 補助申請 ▶ 交付決定 ▶ 契約・着手 ▶ 施工業者へ支払 ▶ 完了報告 ▶ 交付額確定 ▶ 補助金の請求 ▶ 補助金の振込

補助申請

申請方法：
Ｅメール･郵送･委託先の横浜市住宅供給公社の窓口への持参（予約制）

申請期限：
令和８年 12月25日（金）

なお、見積徴収・契約する事業者は横浜市内の事業者である必要があります。「募集案内」を必ずご確認ください。

完了報告

令和９年２月26日（金）まで

設備導入後、アンケートや普及啓発の取組に協力いただくことがあります。

申請書提出・問合せ・訪問アドバイザー事前予約

事務委託先　横浜市住宅供給公社 街づくり事業課

電話　**045-451-7740**

※おかけ間違いにご注意ください
※ご来社の際は、事前にご予約ください。

Ｅメール　yokohama-shoene@yokohama-kousya.or.jp

受付時間
平日 9:00～17:00

アドバイザー派遣のご相談

**建築士が会館を訪問し、設備導入の際の工事内容、付帯工事の有無、注意点に関するアドバイスを実施（１時間程度）。
相談・訪問にかかる料金は無料です。**

※ 訪問する建築士は、横浜市が契約をしている事業者です。現地訪問は、調整の上、土・日曜日、祝日も可能。ただし、アドバイザー派遣まで、２週間ほどお時間をいただきます。
※ 事前の調整なしに、横浜市の派遣により事業者が訪問することはありません。
※ アドバイザーは、特定の事業者を紹介することはできません。

事業実施主体：横浜市市民局地域活動推進課

区連会 資料４－１

令和８年 10 月 19 日

各自治会町内会　会長　様

旭保護司会　会長　黒須　正明

「保護司会だより旭」発行と送付について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

旭保護司会につきまして、日頃より並々ならぬご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

この度、保護司会の活動状況などの一環をお知らせいたしたく「保護司会だより旭第 47 号」を発行しましたのでご送付申し上げます。

何卒、ご高覧頂きますようお願い申し上げます。

１　送付部数　：　各　１　部

保護司会だより 旭

発行所　旭保護司会広報部
発行責任者　会長 黒須　正明
事務局　旭区社会福祉協議会
旭区鶴ヶ峰 1-6-35 ぱれっと旭
印刷所　小松印刷株式会社

GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
©Expo 2027



社会を明るくする運動
駅頭キャンペーン
鶴ヶ峰駅にて



相鉄バス内にも掲載しました



堀口旭区長も参加しました

更生保護を日本の「あたりまえ」に



横浜保護観察所長　田島　佳代子

旭保護司会の皆様には、平素から地域に根ざした更生保護の諸活動にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、本年七月の「社会を明るくする運動」強調月間の主要行事も無事終了することができました。非常に暑い中での活動、本当にありがとうございました。

犯罪や非行からの立ち直りを支えるという「更生保護」という言葉は、一般の方にはあまりなじみがありません。そのため、今年の「社会を明るくする運動」では、はじめて「統一テーマ」が設定されました。今年の統一テーマは「保護司をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう」です。更生保護は、保護司や更生保護女性会、BBS会、協力雇用主など地域のさまざまなボランティアに支えられています。まずは「更生保護」を知ってもらうことによって、この言葉を誰もが知っている日本の「あたりまえ」のものとなり、立ち直りの支援の輪が更に広がることを目指し取り組んでまいります。

また、本年十二月には、更生保護制度の充実を図るために保護司法等の一部を改正する法律が施行される予定です。改正後の保護司法では、保護司の安全確保に関する国の責務が明記されるほか、更生保護サポートセンターの法制化等が盛り込まれています。

不透明な社会情勢のもと更生保護の課題は多いですが、更生保護の原点は、犯罪や非行を犯した人たちに寄り添い、一人ひとりの立ち直りを信じ、地域における地道な活動を継続することです。

今後とも更生保護に対する変わらぬお力添えを賜りますようお願いいたします。



じゃおクラブ「湘南CSS」における研修会を開催して

旭保護司会　石村　利幸

「じゃお」とは、おやじを逆さ読みした造語です。じゃおクラブは、県内及び町田市の地域を四つ（湘南・県央・ベイサイド・多摩田園）に分けて、健康維持・自己啓発・地域貢献を図る目的で、一九九一年七月に設立されました。私は、ベイサイド（横浜地区）の会員です。

「CSS」とは、「クリエイティブシニアライフ　サロン」の略称です。「今考えなければならないこと、今しなければならないこと、もっと知っておきたいこと、新しく知りたいこと」をメンバーがともに考え調べ、皆に伝え、充実した生活に役立てる目的で、湘南地区独自でスタートしたものです。

七月七日、藤沢市明治市民センターにおいて、じゃお湘南CSS会員の皆様へ、保護司会及び薬物乱用防止指導員の活動内容をお知らせし、違法薬物問題について研修しました。この研修会では会員皆さまが熱心に聴講され、質疑応答も活発な質問・意見が出ました。実に、好奇心旺盛な方々の集団だなと実感しました。



感想文では、「保護観察対象者の立ち直りを支え無報酬のボランティアで支えられていることを知り、改めて保護司の使命と社会的意義に敬意を抱いた。薬物乱用が本人や家族地域社会、さらには人生そのものに大きな影響を及ぼすことを再認識した」等の感想をいただき、ありがとうございました。

折しも七月は、社明運動の強調月間であり、保護司活動の重要性に加え、更生保護ボランティア活動の存在を発信する、有意義な研修会であったと思っています。

社会福祉協議会と保護司会のつながり



旭区社会福祉協議会
事務局長　三木　渉

旭区は地域活動が活発で、人と人とのつながりを大切にするまちです。自治会・町内会をはじめ、多くのボランティア団体が地域福祉を支え、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

その中で、社会福祉協議会と保護司会は、それぞれの役割を担いながら地域を支える重要なパートナーです。社会福祉協議会は、高齢者の見守りや子育て支援、地域福祉活動の推進などを通じて住民同士の支え合いを育んでいます。一方、保護司会は、犯罪や非行をした人の立ち直りを支援し、再犯防止と安全・安心な地域社会の実現を目指しています。

立ち直りには、本人の努力だけでなく、地域の理解と温かい見守りが欠かせません。住まいや仕事、人とのつながりなど、生活の基盤を整えるうえで地域の力は大きく、連携は重要な支えとなります。

また、地域行事や福祉活動への参加は、社会とのつながりを取り戻すきっかけにもなります。こうした取り組みは、誰もが孤立することなく安心して暮らせる地域づくりにもつながっています。

旭区の「支え合い」の文化は、更生を目指す人にとっても希望につながります。誰もが地域の一員として安心して暮らせるまちを目指し、社会福祉協議会は保護司会とともにこれからも連携を深めながら、地域福祉の向上と明るい社会づくりに取り組んで参ります。

編集後記

地震と大雨。自然災害と言われながら、都市化や温暖化という人為的要因を多分に含んだ被害が大きくなっているように最近感じられます。保護観察対象者も、SNSなどによって犯罪そのものが「肯定」されうると錯覚している部分があるように思えます。やってはいけないことは絶対にしないと、対象者には理解してほしいと思いつつ、余裕なく過ぎていく日々です。ふ～。（白濱　記）

つながりが明るい未来を創る



横浜市立上白根北中学校　校長　村上　直幸

近年、ＡＩの急速な普及によって私たちの生活は便利になった一方、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。インターネットやＳＮＳを通じて膨大な情報に触れることが出来る時代だからこそ、その情報を正しく判断する力や、自ら考えて行動する力がこれまで以上に求められるのです。また、若者を狙った闇バイトなど犯罪への入り口が身近になっている現状に、学校教育に携わる者として強い危機感を抱かずにはいられません。

こうした時代だからこそ、子どもたちを守るために何が必要なのか、それが最新の技術だけではなく人と人との温かいつながりなのです。学校、家庭、そして地域がそれぞれの立場で子どもたちに関わり、悩みや不安に耳を傾けて「あなたを大切に思っている」というメッセージを送り続けることが、非行や犯罪を未然に防ぐ大きな力になると考えます。

保護司の皆様は、更生を支える活動を通して「人は変わることができる」という希望を地域に示してくださっています。その姿勢は、失敗を責めるのではなく、再び歩み出す力を信じる学校教育の理念とも重なります。

未来を担う子どもたちにとって、学校だけではなく地域全体の支えが欠かせません。今後も保護司会をはじめとする皆様とのパートナーシップにより、子どもたちの健やかな成長を支えてまいりたいと思います。



専任教諭と保護司の合同研修会
二俣川ケアプラザにて

第二回地区社協分科会研修会に参加して

広報部　寺田　崇裕

去る七月二十三日（木）、「ぱれっと旭」にて開催された地区社協研修会に参加した。

地区社協研修の一環でこの会で保護司活動を紹介し理解を深めるべく、旭保護司会から白濵泰子と寺田崇裕が、保護観察所から日高直哉観察官が出席した。

区内各地区社協代表三十五名が出席され、分科会の時間をお借りして区内保護司の人数や件数、保護観察や環境調整の制度を紹介した。

後半に設けられた質問の機会では、対象者に対する金銭的な支援のしくみや保護司活動に地域がどう貢献できるか、保護司活動へ家族の協力等々、具体的な活動に関する質問が出た。また対象者の詳細がわからないままでは、地域として具体的な方策を模索しづらいとの声もあった。

若葉台社協の峰松雅子さん、入江ゆきよさんからは、「普段、保護司の活動を知る機会はなかったが、今回垣間見えたことは有意義だった。こうした保護司の活動を知り、何よりも社会・地域の一員として更生に関わる、見守ることの大切さを実感した」、「対象者と会う前から、保護司の活動が始まっていると知り、大変感心した。地区社協が、地域に関わる時と同じような苦労があると実感した。人間関係が希薄になる昨今、やはり人との関わりによって地域がなり立っていると再認識した」と、励ましのお言葉を頂いた。

地区社協分科会で、保護司活動を紹介する機会を設けて頂き、関係者各位に心よりお礼を申し上げたい。



藍綬褒章の受章にあたり



保護司　髙橋　美登

この度、名誉ある褒章を頂きました。とても光栄と思っております。また、皆さまよりご丁重なお祝いの言葉を頂きまして、心より感謝しお礼申し上げます。

ふり返りますと、上白根地区の連合会長から推薦を受け、平成十六年十月に委嘱されてから、二十二年の月日が流れました。その間、数々の対象者を担当してきました。ガラスが割られ騒然とした自宅に訪問したり、対象者の父親から夜分に連絡が入り、愚痴や不安に長時間にわたり耳を傾けたこともありました。こうした活動の中で、対象者の気持ちに寄り添い、共に歩む更生の大切さを実感しました。



また、保護司会では犯罪予防部会に所属して、中学校専任教諭との話合いの中で少年の現状を語り合いました。更に薬物乱用防止指導員も務め、保護司の立場で中学校の教室で生徒たちにお話ししたことも印象に残っています。

こうした長年にわたる活動は、まわりの皆様のご支援とご協力の賜物と思い、あらためて身の引き締まる思いです。先輩保護司や良き仲間によるご指導あってのことと実感しております。

保護司会、観察所、行政、ＯＢ会と、皆さまに感謝しかありません。ありがとうございました。



社会を明るくする運動



旭区暴力団排除対策推進協議会
会長　澁谷　雅行

「社会を明るくする運動」駅頭キャンペーンに参加し、啓発資材の配布を行いました。当日は厳しい暑さの中での活動となりましたが、道行く多くの皆様には温かく資料をお受けいただき、おかげさまで無事に終えることができました。

活動を通じて、自治会や各種団体で日頃からお世話になっている方々と久しぶりにお会いする機会にも恵まれ、改めて地域のつながりの温かさを感じました。顔なじみの皆様と笑顔で言葉を交わす中で、いっそうの親近感もわきあがり、同じ地域で支え合うことの心強さを実感しました。

防災・防犯・再犯防止など、取り組む分野はそれぞれ異なりますが、「安全で安心して暮らせる地域をつくる」という思いは私たちの活動と共通しています。その思いを形にしていくためには、日頃からの連携と協力、そして近隣の方々とのつながりを大切にすることが欠かせないと、今回のキャンペーンを通じて改めて痛感しました。

今後も関係団体の皆様との協力関係を一層深めながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりに微力ながら努めてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



希望ヶ丘駅前にて





町内会掲示板や相鉄バス内にもポスターを掲示しました

掲示用

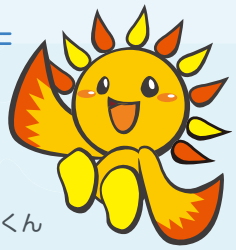
令和８年９月発行

区連会資料 ４－２

あさひ青指だより

第９８号を発行しました

広報部会の青少年指導員が取材・執筆・編集した広報紙です。
令和８年度上半期のイベントの様子についてご紹介します。



旭区マスコットキャラクター あさひくん

第30期旭区青少年指導員201名の活動が始まりました！

（任期：令和８～９年度）

旭区青少年指導員連絡協議会 湯田 達彦会長から、
「私たちに何ができるかを考え、行政をはじめとする様々な団体とも協力して活動していきましょう」と意気込みが語られました。

6月7日 新任青少年指導員研修会を開催しました

青少年活動の専門家をお招きし、子どもの発達にかかわる基礎のほか、アイスブレイクやレクリエーションを実践しました。



6月20日 旭区こども写生大会を開催しました

よこはま動物園ズーラシアで
悪天候の中でしたが65名が参加し、
思い思いに写生を楽しみました。
後日、区役所にて作品を展示しました。



青少年指導員とは

・・・子どもたちの健やかな育ちのため、
県知事・市長の委嘱を受け、
各地域で活動しています。

▶全文はコチラから

発行 旭区青少年指導員連絡協議会
編集 広報部会
事務局 旭区役所地域振興課
TEL:045-954-6099